

平成30年度

むつ市教育委員会の
事務の点検及び評価
に関する報告書

— 平成29年度の実績 —

むつ市教育委員会

まえがき

おつ市教育委員会は、地域の特色ある文化を大切にしながら次の世代に引き継ぎ、未来のおつ市を担っていくための「人づくり」と、地域の人々が取り組む様々な活動を支えていくことが重要であると考え、各種教育施策の充実に努めております。

こうした取組につきましては、これまでも様々な機会を通じて市民の皆様にお知らせしてきたところですが、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされました。

この法律改正を受け、おつ市教育委員会では、今後の効果的な教育行政の推進及び市民への説明責任を果たすことを目的に、外部の学識経験者などから意見を伺いながら、実施事業の内容を高め、着実におつ市の教育を向上させることができるよう事務の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

市民の皆様には、この報告書を御覧いただき、おつ市の教育とおつ市教育委員会の取組について、理解を深めていただければ幸いです。

おつ市教育委員会では、今後も、おつ市教育基本計画に基づき教育施策の推進に努めてまいりますので、市民の皆様の御支援と御協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成30年8月

おつ市教育委員会

目 次

◇点検・評価に当たって	1
◇平成29年度 むつ市教育基本計画	3
◇むつ市教育大綱の概要	4

1 総務課

(重点項目)

(1) 安全・安心な教育環境の整備	6
(2) 教職員の適正・適切な配置	10
(3) 通学区域制度の適切な運用及び再編	10
(4) 学校規模の適正化に係る研究・検討	11
(5) 就学困難な児童生徒等に係る就学援助	11
(6) 学校評議員制度の充実	13
(7) 幼稚園への就園奨励	13
(8) 奨学金制度の充実	14
(9) 学校保健の充実	15
(10) 学校給食の充実	18

2 生涯学習課

(重点項目)

(1) 生涯学習の推進	19
(2) 学校・家庭・地域の連携による教育活動の推進	22
(3) 社会教育施設の機能充実	23
(4) 芸術・文化活動の奨励と振興	25
(5) 郷土の文化遺産の保護・保存と活用	27

3 学校教育課

(重点項目)

(1) 小中一貫教育の充実	33
(2) 質の高い教育課程の創造	34
(3) 学力向上対策の充実	35
(4) 生徒指導の充実と関係機関との連携強化	37
(5) 特別支援教育体制の充実	39
(6) 教育相談活動の充実	41
(7) 国際化に対応する教育と、郷土に対する 愛着と誇りを涵養する教育の推進	43
(8) 教育研修センター講座等の充実	45

(9) 弘前大学との連携強化	4 6
(10) キャリア教育の充実	4 8

4 公民館（中央、川内、大畑、脇野沢）

（重点項目）

(1) 公民館の適正管理と運営の充実	5 0
(2) 公民館事業の推進	5 2
(3) 社会教育団体等の育成支援	5 8
(4) 生涯学習関連施設等との連携促進	6 0
(5) 視聴覚ライブラリーの充実	6 2

5 図書館

（重点項目）

(1) 図書館施設の適正管理	6 4
(2) 図書館サービス活動の充実	6 5
(3) 利用者ニーズに即した資料整備	7 1
(4) 子どもの読書活動の推進	7 2
◇点検・評価対象一覧	7 5

◇ 点検・評価に当たって

1 経緯

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され（平成20年4月施行）、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられました。

この法律改正を受け、むつ市教育委員会では、今後の効果的な教育行政の推進及び市民への説明責任を果たすことを目的として、教育委員会の事務の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

2 点検・評価の方法

(1) むつ市教育施策の方針

むつ市教育委員会では、「むつ市教育基本計画」を定めるとともに、毎年度、各課（館）における重点項目を定め、具体的な取組（事業）を実施しています。

(2) 点検・評価の対象

平成29年度の点検・評価に当たっては、各重点項目を推進するために平成29年度に実施した具体的な取組を点検対象として、その点検結果を踏まえ、重点項目ごとに自己評価を行い、その評価に基づき、5つの施策ごとの総括的な評価を行いました。

(3) 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため、「点検・評価アドバイザー会議」を開催し、学識経験者等の「点検・評価アドバイザー」からその実施方法や内容について意見をいただき、報告書の作成を行いました。

なお、いただいた意見のほとんどは報告書に反映させておりますが、今年度反映できなかった一部の意見については、来年度以降、引き続き検討を行うこととしています。

3 報告書の構成

(1) 全体構成

報告書は〔1 総務課〕、〔2 生涯学習課〕、〔3 学校教育課〕、〔4 公民館〕、〔5 図書館〕の施策ごとに構成されています。

(2) 重点項目の点検（平成29年度の具体的な取組状況）

重点項目を推進するための具体的な取組状況について、個々の事業が適切に実施されているかどうか、その概要・計画・実績を点検しています。

(3) 重点項目の評価（点検結果を踏まえた評価）

各重点項目について、具体的な取組状況の点検結果を踏まえ、成果・課題等を評価しています。

～ 点検・評価アドバイザー会議の概要 ～

◆平成30年度点検・評価アドバイザー

氏名	団体・役職
大見 竜人	むつ市連合PTA会長
北村 昭彦	元大平小学校長
渡邊 悟	元むつ市企画部長

(50音順、敬称略)

◆点検・評価アドバイザー会議の開催状況

- ・第1回点検・評価アドバイザー会議（平成30年8月7日）
〈内容〉 ・教育委員会の事務の点検及び評価の概要について
・点検及び評価の実施方法に関する意見について
・説明担当課：生涯学習課、学校教育課
- ・第2回点検・評価アドバイザー会議（平成30年8月8日）
〈内容〉 ・教育委員会の事務の点検及び評価の概要について
・点検及び評価の実施方法に関する意見について
・説明担当課：総務課、中央・川内・大畑・脇野沢公民館、図書館

◆アドバイザーからの主な意見

〈点検・評価の実施、報告書の作成に反映させた主な意見〉

- ・レイアウト、表記の仕方は報告書全体で統一し、文字の大きさにも注意したほうがよい。
- ・計画と実績の記載が全く同じものがあるので工夫したほうがよい。

〈次年度以降、引き続き検討することとした主な意見〉

- ・前年度に課題として載せていたものをふまえて、事業を振り返ったほうがよい。
- ・漢字表記が多く、硬い印象を受けるので、柔らかい表現ができるところは直したほうがよい。
- ・予算がついていない事業も多いが、その場合は人数を掲載して説明するとよい。
- ・その他、教育行政全般にわたり、適切なアドバイスがあった。

参考

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

- 第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。
- 2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

◇平成29年度 むつ市教育基本計画

この「教育基本計画」は、「むつ市教育大綱」に示した理念を実現するために、大綱の趣旨に沿って教育委員会で実施する事業の具体的な実施計画となります。また、子供たちを育む家庭、学校、地域社会に期待される役割を明らかにし、事業を計画・実施するための基本的な指針としていきます。計画には、各所属において毎年度の予算に基づき実施する事業を明記し、当該年度において着実に実施するとともに、実施した事業について毎年度検証及び評価を行い、子供たちにとってよりよい施策となるよう努めるものとします。

【各所属における重点項目】

1 総務課

子供が豊かな心を持ち、自ら学び、自ら考える力など「生きる力」を育成するための教育環境の整備を推進する。また、活力ある学校教育を推進するため、教職員の適切な配置を図るとともに、その他教育環境の整備と保健衛生及び学校給食の充実を図る。

2 生涯学習課

市民の皆様が生涯にわたって、自己の能力と可能性を最大限に高め、多くの人々と協働し、生きがいのある充実した生活を送り、豊かで住みよい地域社会をつくり出すことができるように「いつでも・どこでも・だれでも」学習できる環境の充実と、学びを活かした社会参加活動を支援していく。

また、地域に根ざした民俗芸能・伝統文化の継承活動を支援するとともに、自主的かつ主体的な芸術文化活動を推進する。併せて、文化財の保護・保存と活用に努める。

3 学校教育課

知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童生徒を育成するために、校長の強力なリーダーシップの下、「教育は人づくり」という視点に立って、全教職員が協働して特色ある学校運営を図り、「生きる力と夢をはぐくむ」学校教育の推進に努める。

4 公民館（中央、川内、大畑、脇野沢）

市民の最も身近な生涯学習施設として、学習活動の支援や豊かな地域づくり・人づくりのため、公民館活動の充実に努める。

5 図書館

地域住民の多様化する学習意欲に応えるための施設として、快適な読書環境の保全に努めるとともに、多種多様な資料や情報等の積極的な収集・整備による読書活動の拠点として図書館機能の充実を図り、地域の教育・文化の向上発展に寄与する。

○ むつ市教育大綱の概要

1 学力の向上

① 明確な目標設定

「むつ市教育プラン」に具体的な数値目標を定め、P D C Aを着実に実践します。

② 主体的な学習の推進

「主体的・対話的で深い学び」（アクティブラーニング）の視点で多様な学習活動に取り組みます。

③ 教育環境の整備

校舎の長寿命化を図り、施設の維持・整備を進め、全ての子供たちにとって快適な学習環境の整備に努めます。

④ 教職員の資質向上

新たな課題にも適切に対応できる力量を持った教職員が、チームとして子供たちの成長や発達を支援できるよう、学校内外での研修体制の整備・充実に努めます。

⑤ 幼保小連携

幼児教育、義務教育それぞれが抱える課題や悩みを共に理解し、充実した幼児教育につなげていきます。

2 体育・健康教育の充実

① 健康な体を育む学校づくり

健康についての正しい知識を身に付けさせ、自ら健康な生活を実践する能力や態度を育てます。

② 安全・防災教育の推進

起こり得る危険を理解し、いかなる状況においても、子供たちが自ら安全に関する情報を正しく判断し、安全に行動できるような資質・能力を育てます。

③ スポーツ環境整備

子供たちがスポーツに親しむ環境を充実させるとともに、スポーツを通じて子供たちの夢を育てていきます。

3 夢を育む教育

① 学力の保障を通じた生きる力の育成

子供一人一人の良さや可能性を引き出す教育の充実に努め、基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力、学んだことを自分の人生や社会に生かそうとする豊かな人間性を育てていきます。

② キャリア教育の充実

急速な社会の変化に適切に対応するため、キャリア教育のさらなる充実に努めます。

③ 特別支援教育の充実

個々の状態に応じたきめ細かい指導・支援を更に充実させるとともに、必要な情報を提供するなど教育相談体制の充実に努めていきます。

④ 豊かな心の育成

子供たちがいじめについて自ら考える機会を提供し、学校でのいじめ防止に向けて不断の取組を続けます。

4 地域とともにある学校

① 家庭・地域との連携強化

家庭や地域からの声を学校経営に反映させるよう努め、「開かれた学校づくり」「地域とともにある学校」を目指していきます。

② 多様な学習機会の提供

変化する市民の皆様のニーズを的確に捉えた上で実施事業を整理し、市民が生涯を通じて学んでいくために、真に必要とされる学習機会の提供に努めていきます。

③ 廃校校舎の利活用

「むつ市公共施設等総合管理計画」の趣旨に留意しながら、その利活用と解体を計画的に進めていきます。

④ ふるさとむつ市への愛着と誇りを育む教育

文化財、伝統芸能などの地域資源について学び、知識を得ることができるよう学習機会の提供を推進します。

1 総務課

【重点項目】

- (1) 安全・安心な教育環境の整備
- (2) 教職員の適正・適切な配置
- (3) 通学区域制度の適切な運用及び再編
- (4) 学校規模の適正化に係る研究・検討
- (5) 就学困難な児童生徒等に係る就学援助
- (6) 学校評議員制度の充実
- (7) 幼稚園への就園奨励
- (8) 奨学金制度の充実
- (9) 学校保健の充実
- (10) 学校給食の充実

■ 重点項目の点検（平成29年度の具体的な取組状況） ■

(1) 安全・安心な教育環境の整備

事業名		スクールバス運行管理事業																									
概要	学校統合により徒歩での通学が困難な児童生徒の安全な輸送を行うため、スクールバスの運行を行う。																										
計画	<p>○下記地区から通学する児童生徒の安全な輸送を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関根地区（烏沢） ・奥内地区（大室平・金谷沢・中野沢） ・大湊地区（角違・城ヶ沢） ・川内地区（戸沢・蛸崎・湯野川） ・大畑地区（小目名・釣屋浜） ・脇野沢地区（源藤城・九艘泊・小沢） <p>※計画人数：193人</p>	実績	<p>○運行時の事故もなく、安全に輸送を行うことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関根地区：14人 ・奥内地区：30人 ・大湊地区：23人 ・川内地区：68人 ・大畑地区：40人 ・脇野沢地区：21人 <p>※実績人数：196人</p>																								
予算	<p>予算総額 91,185,875 円</p> <p>(内訳) バス委託料</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">関根地区</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">7,512,912 円</td> </tr> <tr> <td>奥内地区</td> <td style="text-align: right;">15,483,312 円</td> </tr> <tr> <td>大湊地区</td> <td style="text-align: right;">11,289,021 円</td> </tr> <tr> <td>川内地区</td> <td style="text-align: right;">25,723,460 円</td> </tr> <tr> <td>大畑地区</td> <td style="text-align: right;">15,804,720 円</td> </tr> <tr> <td>脇野沢地区</td> <td style="text-align: right;">15,372,450 円</td> </tr> </table>	関根地区	7,512,912 円	奥内地区	15,483,312 円	大湊地区	11,289,021 円	川内地区	25,723,460 円	大畑地区	15,804,720 円	脇野沢地区	15,372,450 円	決算	<p>決算総額 87,645,809 円</p> <p>(内訳) バス委託料</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">関根地区</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">7,204,464 円</td> </tr> <tr> <td>奥内地区</td> <td style="text-align: right;">14,843,088 円</td> </tr> <tr> <td>大湊地区</td> <td style="text-align: right;">10,958,976 円</td> </tr> <tr> <td>川内地区</td> <td style="text-align: right;">25,149,233 円</td> </tr> <tr> <td>大畑地区</td> <td style="text-align: right;">14,370,048 円</td> </tr> <tr> <td>脇野沢地区</td> <td style="text-align: right;">15,120,000 円</td> </tr> </table> <p>※決算総額のうち1,749,000円は国庫補助額</p>	関根地区	7,204,464 円	奥内地区	14,843,088 円	大湊地区	10,958,976 円	川内地区	25,149,233 円	大畑地区	14,370,048 円	脇野沢地区	15,120,000 円
関根地区	7,512,912 円																										
奥内地区	15,483,312 円																										
大湊地区	11,289,021 円																										
川内地区	25,723,460 円																										
大畑地区	15,804,720 円																										
脇野沢地区	15,372,450 円																										
関根地区	7,204,464 円																										
奥内地区	14,843,088 円																										
大湊地区	10,958,976 円																										
川内地区	25,149,233 円																										
大畑地区	14,370,048 円																										
脇野沢地区	15,120,000 円																										

スクールバス運行経路

地区	運行区間
関根地区	烏沢～川代～関根小
奥内地区	大室平～金谷沢～奥内小～近川中 中野沢～近川中～奥内小
大湊地区	大川目～角違～大湊中～大湊小
川内地区	戸沢～田野沢～川内小・中 蛸崎～宿野部～川内小・中 湯野川～安部城～川内小・中
大畑地区	小目名～関根橋～正津川～大畑小～大畑中 釣屋浜～孫次郎間～大畑中
脇野沢地区	源藤城～滝山～脇野沢小・中 九艘泊～寄浪～脇野沢小・中 小沢～稲平～脇野沢小・中

事業名		新入学児童用防犯ブザー購入事業	
概要	平成30年度新入学児童に対し、進学時における安全を確保するため、防犯ブザーを配る。		
計画	○平成30年度新入学児童に児童用防犯ブザーを購入し、配る。	実績	○配布数：393個(全小学1年生へ配布)
予算	予算総額 329,000 円 (内訳) 購入費 329,000 円	決算	決算総額 219,283 円 (内訳) 購入費 219,283 円

事業名		校務用パソコン等更新事業	
概要	小中学校22校の教職員が校務で使用しているパソコンは、平成22年から使用し、耐用年数を過ぎているため故障も多く校務に支障をきたすことが多くなってきているため更新する。		
計画	○平成29年度 小中学校PC購入 小学校118台 中学校110台 計228台 ○平成30年度 小中学校PC購入 小学校133台 中学校 83台 計216台	実績	○平成29年度 小中学校PC購入 小学校118台 中学校110台 計228台
予算	予算総額 38,560,000 円 (内訳) 小学校PC 16,179,000 円 ソフト 3,875,000 円 中学校PC 14,894,000 円 ソフト 3,612,000 円	決算	決算総額 22,744,795 円 (内訳) 小学校PC 9,388,003 円 ソフト 2,772,792 円 中学校PC 8,108,964 円 ソフト 2,475,036 円

事業名		関根中学校建設事業	
概要	<p>関根中学校は、昭和38年に建設された木造二階建てで、老朽化が著しく雨漏りや冬期間には雪が吹き込み施設的环境は劣悪な状況にある。学校建設により児童の教育環境の整備が図られ、小中一貫併設校による一貫教育の実施により学力の向上を図る。関根小学校に校舎棟を増築し、屋内運動場は建設しない。</p>		
計画	<p>○平成24年度 用地測量 ○平成25年度 基本計画 ○平成26年度 耐力度調査 ○平成27年度 学校規模再検討 ○平成28年度 実施設計、地質調査 ○平成29年度 校舎・外構Ⅰ期工事 工事監理業務委託 ○平成30年度 校舎・外構Ⅱ期工事 工事監理業務委託</p>	実績	<p>平成29年度○校舎Ⅰ期工事 鉄骨造 1階 607.16㎡ 校舎全体の34%を完了 ○外構Ⅰ期工事 駐車場567㎡ 新広場275㎡ バスケットコート160㎡ 中庭野芝352㎡ あずまや 木造 1棟 外構全体の18.5%を完了 ○工事監理業務委託</p>
予算	<p>予算総額 96,157,000 円 (内訳) 校舎工事 83,969,000 円 外構工事 9,600,000 円 監理委託 2,484,000 円 確認手数料 104,000 円 予算総額は平成29年度のみ金額</p>	決算	<p>決算総額 92,862,000 円 (内訳) 校舎工事 81,648,000 円 外構工事 8,711,000 円 監理委託 2,343,000 円 確認手数料 160,000 円 決算総額は平成29年度のみ金額</p>

事業名		ICTを活用した特別支援教育研究事業	
概要	<p>むつ市教育大綱では、「特別支援教室の充実」を積極的に推進すべきとしており、自立や社会参加に向けて持てる力を伸ばし、多様な気づきや発見を重ねさせなければならないことから、書字障がい・読み書き障がい・肢体不自由児童の支援に取り組むべきであるため、ユニバーサルデザインの支援ソフトとタブレット端末を導入し支援する。</p>		
計画	○タブレット端末の導入 10台	実績	○タブレット端末の導入 10台
予算	<p>予算総額 1,728,000 円 (内訳) タブレット 1,296,000 円 携帯Wi-Fi 108,000 円 支援ソフト 162,000 円 通信料 162,000 円</p>	決算	<p>決算総額 904,752 円 (内訳) タブレット 668,476 円 携帯Wi-Fi 128,520 円 支援ソフト 82,409 円 通信料 25,347 円</p>

※書字障がい：ディスグラフィア。文字を「書く」ことに困難がある学習障がい（LD）

※読み書き障がい：ディスレクシア。字を読むことに困難がある障がい。読むことができないと書くことも難しいことから、読み書き困難とも呼ばれる

事業名		その他小中学校の施設・設備の整備事業																													
概要	田名部中学校は肢体不自由特別支援学級の生徒が平成30年度から7年連続で合計15名の在籍が予想される。中学校では可能性の最大限の伸長を図ることを目的に学力保障・社会性の育成・平等性と安全性の確保に努めなくてはならない。南側校舎以外に東側や北側校舎特別教室の授業に連日移動する必要があるためエレベーターを設置する。																														
計画	○平成29年度 I 期工事 出来高50% ○平成30年度 II 期工事 出来高50%	実績	○平成29年度 I 期工事 乗用エレベーター 13人乗り1基 エレベーター棟増築 33㎡全体の10%を完了																												
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>27,682,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 本体工事</td> <td>23,436,000 円</td> </tr> <tr> <td>設計委託</td> <td>3,390,000 円</td> </tr> <tr> <td>監理委託</td> <td>787,000 円</td> </tr> <tr> <td>確認審査料</td> <td>69,000 円</td> </tr> <tr> <td>構造審査料</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">予算総額は平成29年度のみ金額</td> </tr> </table>	予算総額	27,682,000 円	(内訳) 本体工事	23,436,000 円	設計委託	3,390,000 円	監理委託	787,000 円	確認審査料	69,000 円	構造審査料	0 円	予算総額は平成29年度のみ金額		決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>8,048,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 本体工事</td> <td>4,530,000 円</td> </tr> <tr> <td>設計委託</td> <td>3,186,000 円</td> </tr> <tr> <td>監理委託</td> <td>78,000 円</td> </tr> <tr> <td>確認審査料</td> <td>94,000 円</td> </tr> <tr> <td>構造審査料</td> <td>160,000 円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">決算総額は平成29年度のみ金額</td> </tr> </table>	決算総額	8,048,000 円	(内訳) 本体工事	4,530,000 円	設計委託	3,186,000 円	監理委託	78,000 円	確認審査料	94,000 円	構造審査料	160,000 円	決算総額は平成29年度のみ金額	
予算総額	27,682,000 円																														
(内訳) 本体工事	23,436,000 円																														
設計委託	3,390,000 円																														
監理委託	787,000 円																														
確認審査料	69,000 円																														
構造審査料	0 円																														
予算総額は平成29年度のみ金額																															
決算総額	8,048,000 円																														
(内訳) 本体工事	4,530,000 円																														
設計委託	3,186,000 円																														
監理委託	78,000 円																														
確認審査料	94,000 円																														
構造審査料	160,000 円																														
決算総額は平成29年度のみ金額																															

- 【成果】** ○川内地区の戸沢路線及び脇野沢地区の小沢路線の市有バスを1台ずつ更新した。次年度は川内地区の湯野川路線分を更新し、課題となっていた車両の老朽化の解消に向けて尽力していきたい。当年度から、川内地区の蛸崎路線を対象に、へき地児童生徒援助費等補助金の交付申請を開始し、バス料金負担軽減の一助となった。
- 校務用パソコンは小学校に118台、中学校に110台と計画通りそれぞれ半数ずつ納入し快適に使用されている。
- 関根中学校はI期工事について計画通り完了し移転に向けて順調に施工されている。ICTを活用した特別支援教育研究事業は計画通りタブレット端末10台を納入し活用している。田名部中学校エレベーター設置工事はI期工事に50%の出来形を計画していたが、本体の納入期間の関係で10%の出来形に変更しており、工事では10%以上を完了している。
- 【課題】** ○スクールバスの行事での利用について、生徒数の減少が起因し、生徒活動後援会費等が少なくなっており、公費からの対応の拡大が求められるが、予算の確保が難しい。
- 校務用パソコンには個人情報記録されているためセキュリティ強化が必要である。
- 関根中学校は移転後に関根小学校との共用となり、外構工事の広場は地域の皆さんとの共用を目指すことから管理方法を検討しなければならない。
- ICTを活用した特別支援教育研究事業は他の学校と情報共有するなど研究内容を広める方策を考える。
- 田名部中学校エレベーター設置工事は完了後の利用方法や災害時の対応をマニュアル化する必要がある。



関根中学校外観パース



田名部中学校エレベーター棟外観

(2) 教職員の適正・適切な配置

事業名	県費負担職員の任免、服務、その他の人事管理				
概要	より良い環境をつくるため、適正な人事配置を行うとともに、休暇・休職等の服務管理を行う。				
計画	○県の人事異動方針に基づき、適正な人員配置を行う。 ○代替教員の配置を適正に行う。	実績	○人事異動については、概ね適正な配置が行われた。 ○代替教員の配置については、人材が確保できず配置できない学校もあった。		
予算	予算額	0 円	決算	決算額	0 円

【成果】○人事異動方針に則り、概ね適正な教職員の配置が行われた。

【課題】○教諭の不足により、本来であれば教諭が配置されるべきところへ臨時講師を配置している学校もあるため教諭の採用増が望まれる。
○通常学級に在籍する個別指導が必要な児童生徒に対する、学校からの教員の増員要望に必ずしも応えられていない状況にある。現在は、市のスクールサポーター等で対応はしているものの、教科指導のできる教員の増員が望まれる。
○小学校4学年までは、あおりっ子育みプランの適用により、少人数学級の編制ができるが、さらにきめ細かい教育を推進するためには、高学年にも少人数学級の実現が望まれる。
○平成29年度は、重大な服務規律違反はなかったものの、交通違反が大幅に増加した。(H28:3件→H29:12件)
特に、夏季休業期間やその前後に多くの違反が発生していることから、長期休業前に服務規律確保の徹底について、強く指導していきたい。

(3) 通学区域制度の適切な運用及び再編

事業名	むつ市通学区域審議会の設置				
概要	小学校又は中学校に就学する児童生徒の通学区域の適正化を図るため、通学区域の新設又は改廃に関する事項を調査審議し、その結果を答申する。				
計画	○必要に応じて行う	実績	○なし		
予算	予算額	0 円	決算	決算額	0 円

※現在、審議対象がなく、設置されていないが、審議対象が生じた場合設置する。

(4) 学校規模の適正化に係る研究・検討

事業名	学校規模適正化のための地域説明会等の開催		
概要	むつ市教育プランに沿ったよりよい教育環境を実現するために、小規模校の統廃合についてPTAや地域住民の理解・協力を得られるよう話し合いの場を設ける。		
計画	○大畑地区の正津川小学校及び二枚橋小学校について説明会を開催する。	実績	○保護者説明会 ・正津川小学校 開催日：平成29年5月16日 参加者：8名(16世帯中、8世帯参加) ・二枚橋小学校 開催日：平成29年5月18日 参加者：5名(全世帯参加) ○住民説明会 ・正津川小学校 開催日：平成29年11月10日 参加者：19名(男性12名、女性7名) ・二枚橋小学校 開催日：平成29年11月15日 参加者：10名(男性5名、女性5名)
予算	予算額	0 円	決算 決算額
			0 円

- 【成果】**○文部科学省が策定した「公立小・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」及び教育委員会が策定した「むつ市学校規模適正化に関する方針」についての保護者説明会及び地域住民説明会を開催した。
○児童を対象にアンケート調査を実施した。

- 【課題】**○統廃合について保護者及び地域住民とも反対意見が多いが、教育委員会として、児童の教育環境を整えることを第一義として今後の方針を示し、保護者及び地域住民の理解が得られるよう丁寧な説明を重ねていく必要がある。

(5) 就学困難な児童生徒等に係る就学援助

事業名	要保護児童生徒援助事業		
概要	経済的な理由によって就学困難な児童生徒に対して修学旅行費を給付し就学の援助を図る。(生活保護受給世帯)		
計画	○対象者：19人 ○支給額：1,414,000円	実績	○対象者：20人 ○支給額：1,490,617円
予算	予算総額	1,414,000 円	決算 決算総額
	(内訳) 児童分	270,000 円	(内訳) 児童分
	生徒分	1,144,000 円	生徒分
			1,490,617 円
			(内訳) 児童分
			245,117 円
			生徒分
			1,245,500 円

事業名		準要保護児童生徒援助事業																																					
概要	経済的な理由によって就学困難な児童生徒に対して、学用品費等を給付し就学の援助を図る。																																						
計画	○対象者：470人 ○支給額：47,067,000円	実績	○対象者：491人 ○支給額：49,170,062円																																				
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>47,067,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 学用品費</td> <td>8,677,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>新入学学用品費</td> <td>2,413,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>9,171,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費</td> <td>396,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>26,410,000</td> <td>円</td> </tr> </table>	予算総額	47,067,000	円	(内訳) 学用品費	8,677,000	円	新入学学用品費	2,413,000	円	修学旅行費	9,171,000	円	校外活動費	396,000	円	給食費	26,410,000	円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>49,170,062</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 学用品費</td> <td>9,084,474</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>新入学学用品費</td> <td>2,596,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>8,842,500</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費</td> <td>240,178</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>28,406,910</td> <td>円</td> </tr> </table>	決算総額	49,170,062	円	(内訳) 学用品費	9,084,474	円	新入学学用品費	2,596,000	円	修学旅行費	8,842,500	円	校外活動費	240,178	円	給食費	28,406,910	円
予算総額	47,067,000	円																																					
(内訳) 学用品費	8,677,000	円																																					
新入学学用品費	2,413,000	円																																					
修学旅行費	9,171,000	円																																					
校外活動費	396,000	円																																					
給食費	26,410,000	円																																					
決算総額	49,170,062	円																																					
(内訳) 学用品費	9,084,474	円																																					
新入学学用品費	2,596,000	円																																					
修学旅行費	8,842,500	円																																					
校外活動費	240,178	円																																					
給食費	28,406,910	円																																					

事業名		医療的ケア児童生徒就学支援事業													
概要	医療的ケアを必要とする児童生徒の健康の維持・増進及び安全な学習環境の整備を図るため、訪問看護師の派遣による専門的な処置を行う。														
計画	○対象者：1人 ○事業額：1,133,000円	実績	○対象者：1人 ○事業額：1,048,000円												
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>1,133,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 訪問看護委託料</td> <td>1,133,000</td> <td>円</td> </tr> </table>	予算総額	1,133,000	円	(内訳) 訪問看護委託料	1,133,000	円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>1,048,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 訪問看護委託料</td> <td>1,048,000</td> <td>円</td> </tr> </table>	決算総額	1,048,000	円	(内訳) 訪問看護委託料	1,048,000	円
予算総額	1,133,000	円													
(内訳) 訪問看護委託料	1,133,000	円													
決算総額	1,048,000	円													
(内訳) 訪問看護委託料	1,048,000	円													

事業名		特別支援教育就学奨励事業																																											
概要	小中学校の特別支援学級へ就学する児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の普及、奨励を図ることを目的として奨励費を支給する。																																												
計画	○対象者：72人 ○支給額：3,100,215円	実績	○対象者：75人 ○支給額：2,953,022円																																										
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>3,100,215</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 学用品費</td> <td>531,020</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>新入学学用品費</td> <td>142,295</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>187,470</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費</td> <td>139,820</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>通学費</td> <td>0</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>2,099,610</td> <td>円</td> </tr> </table>	予算総額	3,100,215	円	(内訳) 学用品費	531,020	円	新入学学用品費	142,295	円	修学旅行費	187,470	円	校外活動費	139,820	円	通学費	0	円	給食費	2,099,610	円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>2,953,022</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 学用品費</td> <td>509,414</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>新入学学用品費</td> <td>118,745</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>156,699</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費</td> <td>109,652</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>通学費</td> <td>0</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>2,058,512</td> <td>円</td> </tr> </table>	決算総額	2,953,022	円	(内訳) 学用品費	509,414	円	新入学学用品費	118,745	円	修学旅行費	156,699	円	校外活動費	109,652	円	通学費	0	円	給食費	2,058,512	円
予算総額	3,100,215	円																																											
(内訳) 学用品費	531,020	円																																											
新入学学用品費	142,295	円																																											
修学旅行費	187,470	円																																											
校外活動費	139,820	円																																											
通学費	0	円																																											
給食費	2,099,610	円																																											
決算総額	2,953,022	円																																											
(内訳) 学用品費	509,414	円																																											
新入学学用品費	118,745	円																																											
修学旅行費	156,699	円																																											
校外活動費	109,652	円																																											
通学費	0	円																																											
給食費	2,058,512	円																																											

【成果】○中学生の新入学学用品費について、小学6年生の3月に支給し、中学校入学前の実益の高い時期に実施することができた。

○就学援助費の事務取扱要綱の一部を改正し、支給認定の要件である市民税の所得割非課税の対象者を「居住を同じくしているすべての者」から「保護者」に緩和した。

【課題】○認定基準の拡大や支給費目の拡大に対する要望が市民及び市民団体より寄せられているので、市財政当局とも協議の上、引き続き検討していく必要がある。

(6) 学校評議員制度の充実

事業名		学校評議員の設置													
概要	学校の教育目標、教育方針、教育活動の実施、地域の連携、学校運営に地域の意見を反映させ、開かれた学校づくりを推進するために学校評議員を配置する。														
計画	○評議員数：80人 ○会議開催：66回（3回×22校）	実績	○評議員数：82人 ・任期：委嘱の日～平成30年3月31日 ○会議回数：59回												
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>900,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 評議員報酬</td> <td>240,000 円</td> </tr> <tr> <td>費用弁償</td> <td>660,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	900,000 円	(内訳) 評議員報酬	240,000 円	費用弁償	660,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>738,558 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 評議員報酬</td> <td>194,000 円</td> </tr> <tr> <td>費用弁償</td> <td>544,558 円</td> </tr> </table>	決算総額	738,558 円	(内訳) 評議員報酬	194,000 円	費用弁償	544,558 円
予算総額	900,000 円														
(内訳) 評議員報酬	240,000 円														
費用弁償	660,000 円														
決算総額	738,558 円														
(内訳) 評議員報酬	194,000 円														
費用弁償	544,558 円														

【成果】○各校とも、3～5人の学校評議員を任命し、ほとんどの学校で年3回の会議を持ち、評議員の意見を学校経営に反映させている。

【課題】○法律の改正により平成29年度より「学校運営協議会」の設置が教育委員会の努力義務となったことから、平成30年度から学校運営協議会制度の導入を進めていき、平成32年度には市内全小中学校で導入する方針であるため、広く周知していく必要がある。

(7) 幼稚園への就園奨励

事業名		私立幼稚園就学奨励費補助事業													
概要	幼稚園教育の振興を図る目的で、それぞれの世帯の所得に応じて、保育料等を減免措置した幼稚園設置者に対し、就園奨励費として補助する。														
計画	○対象者：2園 85人 ○補助金額：12,047,800円	実績	○対象者：2園 69人 ○補助金額：8,146,400円												
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>12,052,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 補助金</td> <td>12,048,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>4,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	12,052,000 円	(内訳) 補助金	12,048,000 円	消耗品費	4,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>8,149,640 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 補助金</td> <td>8,146,400 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>3,240 円</td> </tr> </table>	決算総額	8,149,640 円	(内訳) 補助金	8,146,400 円	消耗品費	3,240 円
予算総額	12,052,000 円														
(内訳) 補助金	12,048,000 円														
消耗品費	4,000 円														
決算総額	8,149,640 円														
(内訳) 補助金	8,146,400 円														
消耗品費	3,240 円														

【成果】○子ども子育て支援制度に移行しない市内の私立幼稚園2園に対して、滞りなく補助金を交付することができた。

【課題】○平成30年度より市内全ての私立幼稚園が子ども子育て支援新制度に移行することとなったが、市内に住所を有し、他の市町村の就園奨励費対象私立幼稚園に就園している園児の保護者は、引き続き本事業の対象となることから滞りなく補助金が支給できるよう体制の整備が必要である。

(8) 奨学金制度の充実

事業名		奨学金貸付事業	
概要	当市に住所を有する者の子弟で高等学校又はそれと同等以上の学校に修学している者に対して、修学上必要な学費の一部を貸与し、人材の育成を図る。		
計画	○貸与 ・高校生：24人 4,320,000円 ・大学生等：125人 45,000,000円 ○返還 ・現年度分：45,502,500円 ・滞納分：24,728,500円	実績	○貸与 ・高校生：16人 2,730,000円 ・大学生等：117人 41,940,000円 ○返還 ・現年度分：43,985,000円 (※繰り上げ返還分を含む) ・滞納分：2,703,000円
予算	予算総額 97,072,000 円 (内訳) 委員報酬 65,000 円 費用弁償 56,000 円 貸付金 49,320,000 円 積立金 47,631,000 円	決算	決算総額 92,347,065 円 (内訳) 委員報酬 39,000 円 費用弁償 47,083 円 貸付金 44,670,000 円 積立金 47,590,982 円

事業名		医学部修学助成事業	
概要	市内の高等学校から大学に進学し、医学を履修する課程を修学する者に対し、修学上必要な学費の一部を助成し、将来医師となる人材を育成するとともに、市の医師不足の解消及び市内の高等学校の学力の向上を図る。		
計画	○募集人数：2人 ○助成金額：1,000,000円 (1人当たり500,000円)	実績	○応募者なし
予算	予算総額 1,000,000 円 (内訳) 助成金 1,000,000 円	決算	決算額 0 円 (内訳) 助成金 0 円

- 【成果】○前年度に比べ申請者は減少したものの、申請のあった37名を新たに奨学生として採用し、希望者全員に対して奨学金を貸与することができた。
 ○滞納者への対応策として、支払督促について情報収集し、平成30年度予算に計上することができた。
 ○企業版ふるさと納税を活用し、医学部修学助成金事業を創設することができた。

- 【課題】○他の制度と併用している方が多いため、国や県、他自治体の動向を注視し、給付型奨学金の創設を含め奨学金制度の見直しについて調査研究していく必要がある。
 ○経済的理由により進学を断念することがないように、市内の中学校及び高等学校の生徒や保護者、学校関係者に対して十分に制度を周知していく必要がある。

(9) 学校保健の充実

事業名		健康診断委託事業		
概要	学校保健安全法の規定により、当該児童生徒並びに教職員（県費）の健康管理及び健康維持のために健康診断を毎年定期に実施する。			
計画	○対象児童生徒数：4,322人 ○対象教職員数：459人	実績	○受診児童生徒数：4,270人 ○受診教職員数：312人	
予算	予算総額	8,518,084 円	決算総額	7,553,508 円
	(内訳) 委託料		(内訳) 委託料	
	尿検査	777,960 円	尿検査	773,640 円
	心電図検査	2,175,000 円	心電図検査	2,025,000 円
	貧血検査	543,024 円	貧血検査	520,560 円
	教職員健診	4,816,790 円	教職員健診	4,229,254 円
	教職員ストレスチェック	205,310 円	教職員ストレスチェック	5,054 円

事業名		学校医委託事業		
概要	学校における児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図るため、学校保健安全法の規定に基づき、産業医、学校医及び学校歯科医並びに学校薬剤師を委嘱する。			
計画	○学校医 ・児童生徒400人以下 @226,000円×13人 ・児童生徒401人以上700人以下 @293,800円×12人 ・児童生徒701人以上 @339,000円×1人 ○学校歯科医 ・児童生徒数500人以下 @224,000円×15人 ・児童生徒数501人以上 @291,200円×4人 ○学校薬剤師 @157,000円×22人 ○産業医 ・教職員数50人以上 @360,000円×1人 ○眼科耳鼻科医 (川内・大畑・脇野沢検診) ・眼科医(大畑) @200,000円×1人 ・眼科医(川内・脇野沢) @100,000円×2人 ・耳鼻科医(大畑) @200,000円×1人 ・耳鼻科医(川内・脇野沢) @100,000円×2人	実績	○学校医 ・児童生徒400人以下 @226,000円×16人 ・児童生徒401人以上700人以下 @293,800円×9人 ・児童生徒701人以上 @339,000円×1人 ○学校歯科医 ・児童生徒数500人以下 @224,000円×17人 ・児童生徒数501人以上 @291,200円×2人 ○学校薬剤師 @157,000円×22人 ○産業医 ・教職員数50人以上 @360,000円×1人 ○眼科耳鼻科医 (川内・大畑・脇野沢検診) ・眼科医(大畑) @200,000円×1人 ・眼科医(川内・脇野沢) @100,000円×2人 ・耳鼻科医(大畑) @200,000円×1人 ・耳鼻科医(川内・脇野沢) @100,000円×2人	
予算	予算総額	15,761,800 円	決算総額	15,558,400 円
	(内訳) 委託料		(内訳) 委託料	
	学校医	6,757,400 円	学校医	6,554,000 円
	学校歯科医	4,390,400 円	学校歯科医	4,390,400 円
	学校薬剤師	3,454,000 円	学校薬剤師	3,454,000 円
	産業医	360,000 円	産業医	360,000 円
	眼科耳鼻科医	800,000 円	眼科耳鼻科医	800,000 円

事業名	学校災害児童生徒医療費給付事業		
概要	保護者の同意を得て児童生徒との間に災害共済給付契約を締結し、学校管理下の災害に対して児童生徒に当該医療費を給付する。		
計画	○日本スポーツ振興センター 災害共済掛金 ・一般： 945円 ・準要保護： 715円 ・要保護： 55円	実績	○日本スポーツ振興センター災害共済 ・加入者数： 4,270人 ・災害発生件数： 418件 ・医療費給付額： 3,831,870円
予算	予算総額 3,994,905 円 (内訳) 負担金 一般 3,570,210 円 準要保護 397,000 円 要保護 4,070 円 転入者分 23,625 円	決算	決算総額 3,859,090 円 (内訳) 負担金 一般 3,509,730 円 準要保護 345,345 円 要保護 4,015 円

事業名	学校保健会補助事業		
概要	学校保健安全教育を推進し、地域社会の協力を得て心身ともに健全な児童、生徒の育成に寄与することを目的としたむつ市学校保健会に協賛する。		
計画	○負担金 ・むつ市学校保健会 23,710円 ・むつ下北学校保健会 146,090円	実績	○負担金 ・むつ市学校保健会 23,710円 ・むつ下北学校保健会 146,090円
予算	予算総額 169,800 円 (内訳) 補助金 169,800 円	決算	決算総額 169,800 円 (内訳) 補助金 169,800 円

事業名	学校災害入院補償事業		
概要	児童生徒が学校管理下において発生した事故で負傷し入院した場合に、当該児童生徒へ入院補償保険金（見舞金）を支払う。		
計画	○入院日数別の補償金額及び想定件数 ・15日以下：10,000円×10件 ・16日以上30日以下：20,000円×5件	実績	○補償金の支給件数 ・15日以下：10,000円×3件
予算	予算総額 200,000 円 (内訳) 補償補填 200,000 円	決算	決算総額 30,000 円 (内訳) 補償補填 30,000 円

- 【成果】○平成30年1月から、学校等欠席者・感染症情報システムが導入されたことにより、インフルエンザ流行時期において、各校の感染状況をリアルタイムで把握できるようになり、早期対策に努めることができた。
- 学校保健会事業における研修会にて、児童生徒に発生しやすいスポーツ障害とその予防についての講演会を行い、有意義なものとなった。

- 【課題】○改正労働安全衛生法に基づくストレスチェックについて、対象校の教職員に対し行ったが、回答実施率が86.3%となっており、未実施の教職員もみられたことから、100%となるよう、働きかけが必要である。また、高ストレスと判定された者も数名いたことから、産業医（共同実施者）による事後指導も促していきたい。

平成29年度 肥満傾向児数及び肥満傾向児出現率

		単位	小 学 校							中 学 校			
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	計
男 子	むつ市	受検者数	253	203	250	212	229	243	1,390	232	268	281	781
		軽肥満（肥満度20%以上30%未満）	17	13	19	18	17	15	99	20	13	16	49
		中等度肥満（肥満度30%以上50%未満）	11	11	15	19	19	21	96	18	19	20	57
		高度肥満（肥満度50%以上）	5	3	9	4	6	7	34	7	12	5	24
		肥満計	33	27	43	41	42	43	229	45	44	41	130
		肥満傾向児出現率	13.04	13.30	17.20	19.34	18.34	17.70	16.47	19.40	16.42	14.59	16.65
		青森県肥満傾向児出現率	7.91	9.55	10.68	13.51	13.01	12.58		15.58	11.33	11.23	
		全国肥満傾向児出現率	4.39	5.65	7.24	9.52	9.99	9.69		9.89	8.69	8.04	
女 子	むつ市	受検者数	214	207	216	219	238	230	1,324	231	256	271	758
		軽肥満（肥満度20%以上30%未満）	7	9	17	10	7	12	62	16	25	25	66
		中等度肥満（肥満度30%以上50%未満）	8	7	13	11	24	18	81	10	16	16	42
		高度肥満（肥満度50%以上）	2	3	4	4	3	5	21	4	4	5	13
		肥満計	17	19	34	25	34	35	164	30	45	46	121
		肥満傾向児出現率	7.94	9.18	15.74	11.42	14.29	15.22	12.39	12.99	17.58	16.97	15.96
		青森県肥満傾向児出現率	6.91	10.54	9.72	11.61	10.45	9.05		10.93	10.42	10.25	
		全国肥満傾向児出現率	4.42	5.24	6.55	7.70	7.74	8.72		8.01	7.45	7.01	

※出典：平成29年度学校保健調査、むつ市学校保健会報第40号

（注）肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者である。

$$\text{肥満度} = (\text{実測体重} - \text{身長別標準体重}) / \text{身長別標準体重} \times 100(\%)$$

(10) 学校給食の充実

事業名		学校給食管理事業	
概要	共同調理場3施設、単独調理場10施設において「安全・安心」な給食を提供するため、学校給食運営及び給食施設の維持管理を行う。		
計画	○直営施設の共同調理場2施設、単独調理場10施設の維持管理及び共同調理場1施設の調理・運搬業務委託を行い、市内小中学校22校に「安全・安心」な給食を提供を行う。	実績	○直営施設の共同調理場2施設、単独調理場10施設の維持管理及び共同調理場1施設の調理・運搬業務委託を行い、市内小中学校22校に「安全・安心」な給食を提供した。
予算	予算総額 118,446,000 円 (内訳) 賃金 46,750,000 円 需用費 19,008,000 円 役務費 1,887,000 円 委託料 50,735,000 円 負担金 40,000 円 公課費 26,000 円	決算	決算総額 120,397,696 円 (内訳) 賃金 46,373,816 円 需用費 21,791,005 円 役務費 1,904,375 円 委託料 50,263,800 円 負担金 39,500 円 公課費 25,200 円

事業名		学校給食設備整備事業	
概要	「安全・安心」な学校給食を提供するため、老朽化や耐用年数の超過した調理機器・用具の修繕又は購入を通じて調理環境の整備を図る。		
計画	○現有機器の修繕及び点検・調整等 ○老朽機器の更新	実績	○現有機器の修繕及び点検・調整等 ・修繕 25件 1,718,938円 ・点検・調整等 7件 328,320円 ○老朽機器の更新 10件 2,179,418円 給気機改修工事 2,608,200円 (西通給食センター)
予算	予算総額 4,188,000 円 (内訳) 需用費 2,040,000 円 役務費 330,000 円 工事請負費 0 円 備品購入費 1,818,000 円	決算	決算総額 6,834,876 円 (内訳) 需用費 1,718,938 円 役務費 328,320 円 工事請負費 2,608,200 円 備品購入費 2,179,418 円

- 【成果】○児童生徒への安全・安心な給食を提供するために、安全管理及び衛生管理に努めた。
 ○調理作業従事員の衛生管理の徹底を行い、食中毒等の発生予防を行った。
 ○耐用年数が過ぎて故障が多い厨房機器を更新し、給食の安定提供に努めた。

- 【課題】○各調理施設にある機器は、耐用年数が過ぎた機器が多いため故障が多く、修繕費が高む傾向にあるため、給食の安定した提供のためにも老朽機器の更新を計画的に行っていく必要がある。
 ○ノロウイルス等による食中毒防止のため、調理場及び学校内での衛生管理の維持に努めているが、老朽化した調理施設が多く、衛生環境の維持が困難になってきている状況である。
 ○近年、食物アレルギーを有する児童・生徒が多くなっており、事故防止に十分注意して給食を調理し提供しているが、独立した調理スペースを確保できず、アレルギー対策としては十分とは言えない状況であり、また衛生環境維持の観点からも調理場の大規模な改修や新調理場の建設等を検討する必要がある。

2 生涯学習課

【重点項目】

- (1) 生涯学習の推進
- (2) 学校・家庭・地域の連携による教育活動の推進
- (3) 社会教育施設の機能充実
- (4) 芸術・文化活動の奨励と振興
- (5) 郷土の文化遺産の保護・保存と活用

■ 重点項目の点検（平成29年度の具体的な取組状況） ■

(1) 生涯学習の推進

事業名		社会教育委員の設置	
概要	社会教育法の規定に基づき、社会教育に関する諮問に対して意見を述べ、諸計画の立案を行うため必要な研究調査を行い、教育委員会に助言することができる社会教育委員を設置する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○会議を開催する：年2回 <ul style="list-style-type: none"> ・委員定数：13人以内 ・任期：2年 ○青森県社会教育委員連絡協議会及び下北地区社会教育委員連絡協議会の構成団体として活動する。 ○委員の資質向上のため、各種研修会へ参加する。 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ○配置：13人（任期） <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年10月1日～平成29年9月30日 ・平成29年10月1日～平成31年9月30日 ○社会教育委員の会議 2回開催 ○下北地区社会教育委員連絡協議会 総会・研修会（むつ市） 12人参加 ○下北地区社会教育研究大会（東通村） 12人参加 ○青森県社会教育研究大会（青森市） 5人参加
予算	予算総額 740,000 円 (内訳) 報酬 462,000 円 費用弁償 258,000 円 消耗品費 9,000 円 負担金 11,000 円	決算	決算総額 680,983 円 (内訳) 報酬 383,500 円 費用弁償 271,483 円 消耗品費 15,000 円 負担金 11,000 円

事業名		社会教育指導員による学習支援	
概要	むつ市社会教育指導員に関する規則に基づき、社会教育の振興を図るため、特定分野（青少年・成人教育）についての直接指導及び学習相談、社会教育関係団体の育成等を行う目的で、社会教育指導員を設置する。		
計画	○社会教育指導員を1人配置する。	実績	<ul style="list-style-type: none"> ○社会教育指導員の配置：1人（任期） <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年4月1日～平成30年3月31日 ・市内社会教育団体、社会教育施設等の情報収集 ・自然観察会等の生涯学習事業の企画、実施 ・学習相談への対応 ・「むつ市社会教育行政」の作成
予算	予算総額 1,981,000 円 (内訳) 報酬 1,556,000 円 費用弁償 425,000 円	決算	決算総額 1,970,821 円 (内訳) 報酬 1,555,200 円 費用弁償 415,621 円

事業名	弘前大学生涯学習講演会の開催		
概要	弘前大学生涯学習研究センターと連携し、市民に高度で専門的な高等教育機関の学習機会を提供し、生涯学習の振興を図る。		
計画	○公開講演会を年2回開催する。	実績	○公開講演会（開催場所：図書館） ・第1回 平成29年6月24日 演題「子どもの目線から考える子どもたちの居場所・放課後とは」 参加者25人 ・第2回 平成29年7月8日 演題「若者の力が地域づくりに活かされる時」 参加者29人 ○協力団体：まさかり学友会 ○あおもり県民カレッジ単位認定講座
予算	予算総額 2,000 円 (内訳) 食糧費 2,000 円	決算	決算総額 720 円 (内訳) 食糧費 720 円

※まさかり学友会：下北在住のあおもり県民カレッジ登録者により構成されている団体

※あおもり県民カレッジ：誰でも・いつでも入学できる「生涯学習の学園」として県が開設。

県内各地で開催される講座から興味・関心のある講座を選択し、自分のペースで学習を継続できる。所定単位ごとに認定証や奨励証が交付される。

事業名	成人式の開催		
概要	二十歳を迎える若者を激励し、その門出を祝福するとともに、むつ市を担う市民としての自覚を促す。		
計画	○対象：平成9年4月2日から平成10年4月1日生まれの市内在住者及び市外在住の参加希望者 ○対象者数：597人	実績	○実施日：平成30年1月7日 ○参加者：442人 ○内容（アトラクション） ・小川町第二白百合保育園の祭囃子 ・第三田名部小学校音楽部の合唱 ・選挙管理委員会による模擬選挙
予算	予算総額 848,000 円 (内訳) 報償費 506,000 円 旅費 71,000 円 需用費 185,000 円 役務費 82,000 円 使用料 4,000 円	決算	決算総額 609,370 円 (内訳) 報償費 361,440 円 旅費 0 円 需用費 183,670 円 役務費 64,260 円 使用料 0 円

事業名	あおもり県民カレッジ情報の提供		
概要	いつでも、どこでも、自分のペースで学ぶことができるあおもり県民カレッジの単位認定講座の情報提供を行うとともに、学習機関と連携し「学習」「評価」「活用」の各場面を総合的に支援する。		
計画	○あおもり県民カレッジと連携を図り、カレッジ登録の学生と併せて、市民に幅広く学習機会を提供する。	実績	○広報むつやチラシ等で市民に広く周知した。 ○「まさかり学友会」と事業での連携を図った。 ○認定講座：3講座（参加者95人）
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円

事業名	放送大学むつ校の情報提供、利用充実にに向けた講演会の支援		
概要	むつ市立図書館内にある「放送大学青森学習センターむつ校」の利用促進に努め、市民の学習意欲の向上を図る。		
計画	○放送大学について市民へ周知する。 ○公開講演会の開催	実績	○広報むつ等による放送大学入学生の募集 ○むつ校利用者数：延べ24人 ○公開講演会（むつ来さまい館） ・平成29年9月2日 演題「地球科学の考え方『ダイナミックな地球』の視聴を通して」 演題「北部海岸ジオサイトで学ぶ海面変動と地層の形成」 参加者41人 ○あおもり県民カレッジ単位認定講座
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円

事業名	自然観察会の開催		
概要	季節毎の自然の営みを観察することで、市民がふるさとの豊かな自然や新たな魅力を知る機会を提供する。		
計画	○季節に応じた自然観察会を年4回開催する。	実績	○春：水源池公園自然観察 平成29年5月7日 参加者20人 ○夏：尻屋崎夏の野鳥観察 平成29年8月27日 参加者9人 ○秋：薬研・奥薬研の自然観察 平成29年10月2日 参加者25人 ○冬：川内川越冬する野鳥観察 平成30年1月21日 参加者26人
予算	予算総額 46,000 円 (内訳) 報償費 45,000 円 費用弁償 1,000 円	決算	決算総額 42,500 円 (内訳) 報償費 42,500 円 費用弁償 0 円

- 【成果】○社会教育や地域活動に見識のある方々を社会教育委員に任命し、市が実施する生涯学習事業について、助言や意見を得ることができた。
○成人式は、スムーズな進行に努めるとともに、アトラクションや運営について様々な団体から協力を得て、新成人の思い出になる式典を開催することができた。
○自然観察会のうち、特に、県立郷土館と共催した秋の自然観察会については、植物、動物、岩石等、多彩な分野の講師の解説を聞くことができ参加者から好評だった。

- 【課題】○成人年齢を18歳とする民法改正案が国会で可決されたため、法が施行される2022年度には18歳から20歳までが一斉に新成人になるが、市内には合同で開催できる場所がないこと、また、従来の開催日（成人の日の前日）は、その多くが高校3年生である18歳成人が、受験を控え参加できないことが懸念されるなどの課題があるため、開催方法についての検討が必要である。



平成30年 むつ市成人式



自然観察会の様子

(2) 学校・家庭・地域の連携による教育活動の推進

事業名		放課後子ども教室推進事業																									
概要	<p>学校の余裕教室等を活用して、放課後等の子どもの安全安心な活動場所を確保するとともに、地域の方の参画を得て活動を実施する。 「放課後子ども教室」を所管する文部科学省と、「放課後児童クラブ(なかよし会)」を所管する厚生労働省が共同で策定した「放課後子ども総合プラン」に基づき実施している。</p>																										
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○年に2回、事業計画の策定やなかよし会との情報交換の場として、「むつ地域放課後子どもプラン運営委員会」を開催する。 ○各教室ごとにコーディネーターと教育活動サポーターを配置し、事業を実施する。 ○費用負担：(国1/3、県1/3、市1/3) 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ○運営委員会：委員12人(任期)平成29年7月21日～平成30年3月31日 ○会議開催回数：2回 ○子ども教室数：5教室 ○コーディネーターの配置：5人 ○教育活動サポーターの登録：25人 ・任期：平成29年4月1日～平成30年3月31日 ○活動内容：スポーツ、畑づくり、読み聞かせ、工作等 ○子ども教室開催回数：延べ535回 ○参加者数：延べ5,568人 																								
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>予算総額</td> <td style="text-align: right;">3,826,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td style="text-align: right;">3,147,000 円</td> </tr> <tr> <td>費用弁償</td> <td style="text-align: right;">145,000 円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td style="text-align: right;">156,000 円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td style="text-align: right;">47,000 円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td style="text-align: right;">331,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	3,826,000 円	(内訳) 報償費	3,147,000 円	費用弁償	145,000 円	需用費	156,000 円	役務費	47,000 円	備品購入費	331,000 円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>決算総額</td> <td style="text-align: right;">3,743,177 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td style="text-align: right;">3,117,420 円</td> </tr> <tr> <td>費用弁償</td> <td style="text-align: right;">126,238 円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td style="text-align: right;">141,079 円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td style="text-align: right;">41,050 円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td style="text-align: right;">317,390 円</td> </tr> </table> <p>※決算総額のうち2,415,000円は県補助額</p>	決算総額	3,743,177 円	(内訳) 報償費	3,117,420 円	費用弁償	126,238 円	需用費	141,079 円	役務費	41,050 円	備品購入費	317,390 円
予算総額	3,826,000 円																										
(内訳) 報償費	3,147,000 円																										
費用弁償	145,000 円																										
需用費	156,000 円																										
役務費	47,000 円																										
備品購入費	331,000 円																										
決算総額	3,743,177 円																										
(内訳) 報償費	3,117,420 円																										
費用弁償	126,238 円																										
需用費	141,079 円																										
役務費	41,050 円																										
備品購入費	317,390 円																										

- 【成果】○平成29年度、大湊小学校に新規開設し、子どもたちの安全安心な居場所を増やすことができた。
○また、地域の方に、ボランティアとしてコーディネーター及び教育活動サポーターとして関わっていただき、多様な活動を実施することができた。

- 【課題】○地域ボランティアであるコーディネーター、教育活動サポーターの確保が難しい。



放課後子ども教室 英語教室の様子



放課後子ども教室 展示会見学の様子

(3) 社会教育施設の機能充実

事業名		むつ市海と森ふれあい体験館の管理・運営	
概要	<p>豊かな自然を活用した地域住民の学びの場及び地域を担っていく子どもたちの総合学習の拠点とするとともに、地域の伝統及び文化の情報発信に寄与することを目的に施設を運営する。</p> <p>指定管理者制度を導入し、利便性の向上と利用者の増加を図り、安定した施設の運営を目指す。</p>		
計画	<p>①貝についての常設展示・その他企画展示</p> <p>②海、川の生物展示</p> <p>③親子、海の自然学校の開催</p> <p>④親子、山の自然学校の開催</p> <p>⑤海の自然観察指導員養成講座の開催</p>	実績	<p>①山口和雄氏所蔵貝殻コレクションの常設展示・その他企画展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ○世界の貝約100種 ○その他企画展示（主なもの） <ul style="list-style-type: none"> ・干支にちなんだ生きもの展 ・野村義勝氏切手コレクション <p>②海、川の生物展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ○むつ湾の生きもの ○ふるさとの川の生きもの ○海の生きものの進化を知ろう <p>③親子、海の自然学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月27日(参加者45人) ・8月5日～6日(参加者2人) ・8月9日～10日(荒天中止) <p>④親子、山の自然学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月10日(荒天中止) <p>⑤海の自然観察指導員養成講座</p> <p>カヌー、シュノーケリング、救急蘇生法講習他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月13日(荒天中止) ・8月18日(荒天中止) ・8月19日(雨天中止) ・8月20日(雨天中止) <p>○施設利用者数：7,027人</p> <p>○指定管理者 特定非営利活動法人シェルフォレスト川内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定期間 平成27年4月1日 ～平成30年3月31日 ・指定管理料 27,813千円（3ヶ年）
予算	<p>予算総額 9,459,000 円</p> <p>(内訳) 指定管理料 9,271,000 円</p> <p>備品購入費 188,000 円</p>	決算	<p>決算総額 9,446,000 円</p> <p>(内訳) 指定管理料 9,271,000 円</p> <p>備品購入費 175,000 円</p>

事業名		むつ市下北自然の家の管理・運営	
概要	青少年の健全育成と市民の生涯学習活動の振興に資することを目的に、宿泊型の体験施設を運営する。 指定管理者制度を導入し、利便性の向上と利用者の増加を図り、安定した施設の運営を目指す。		
計画	○主催事業の実施 ○自主事業の実施 ○受入事業の実施	実績	○主催事業の実施 23事業 延べ 453人 ○自主事業の実施 9事業 延べ 388人 ○受入事業の実施 148団体 延べ5,130人 ○施設利用者数：9,132人 ○指定管理者 一般財団法人むつ市教育振興会 ・指定期間 平成29年4月1日 ～平成32年3月31日 ・指定管理料 246,942千円（3ヶ年）
予算	予算総額 85,188,000 円 (内訳) 修繕料 0 円 委託料 83,616,000 円 工事請負費 1,572,000 円 備品購入費 0 円	決算	決算総額 84,739,874 円 (内訳) 修繕料 91,800 円 委託料 82,314,000 円 工事請負費 2,007,914 円 備品購入費 326,160 円

【成果】○むつ市下北自然の家では、新たな自主事業として、成人を対象にジオサイトである葉研溪流を活用した「体感するジオパーク」、幼児・児童の親子を対象に英語に親しむ「レッツ・エンジョイ・イングリッシュ」を実施するなど、幅広い年齢層に対応する取組により、前年度と比較して自主事業の延べ人数が106人増加した。

【課題】○むつ市海と森ふれあい体験館では、自然のフィールドで活動する事業が多く天候に影響されやすいことから、屋内施設等を活用した事業の展開が課題である。

(4) 芸術・文化活動の奨励と振興

事業名		むつ市文化賞・文化奨励賞受賞者作品展示	
概要	市文化賞・文化奨励賞受賞者の作品を展示し、その功績を広く市民に紹介するとともに、市民に芸術や文化の魅力、楽しさに触れる機会を提供する。		
計画	○市文化賞・文化奨励賞受賞者の作品紹介展を開催する。	実績	○市文化賞・文化奨励賞受賞者作品展示会 ・期間：平成29年11月4日～11月12日 ・会場：北の防人大湊 式番館
予算	予算総額 89,000 円 (内訳) 報償費 48,000 円 消耗品費 34,000 円 手数料 7,000 円	決算	決算総額 53,247 円 (内訳) 報償費 27,500 円 消耗品費 25,747 円 手数料 0 円

事業名		東京藝術大学出身演奏家による芸術鑑賞教室	
概要	青少年の健やかな成長と芸術・文化への関心を高めることを目的とし、東京藝術大学の協力を得て小中学生に一流演奏家の音楽を鑑賞する機会を提供する。		
計画	○演奏家が学校訪問し、児童生徒の前で生の演奏を披露する。	実績	○佐野教授、演奏家4名（サクソ、ピアノ、ソプラノ、テノール） ○平成29年7月11日 ・第三田名部小学校 ・関根中学校 ○平成29年7月12日 ・第二田名部小学校
予算	予算総額 616,000 円 (内訳) 報償費 210,000 円 費用弁償 339,000 円 需用費 13,000 円 使用料 54,000 円	決算	決算総額 561,810 円 (内訳) 報償費 210,000 円 費用弁償 343,080 円 需用費 7,440 円 使用料 1,290 円



東京藝術大学出身演奏家による芸術鑑賞教室の様子

事業名		むつ市文化団体等支援事業	
概要	市内の芸術文化団体（38団体）で組織され、相互の交流と芸術文化活動の振興を目的に市民文化祭を開催している「むつ市文化団体協議会」に補助金を交付するとともに、「第九の会」など団体独自の発表会や演奏会等の活動を展開している芸術文化団体の活動の支援を行う。		
計画	○むつ市文化団体協議会の市民文化祭などの事業に対し補助金を交付する等芸術文化団体の活動の支援を行う。	実績	①むつ市文化団体協議会の事業への補助 74,000円 ②下北文化会館会場使用料負担 ○第48回むつ市民文化祭 ・平成29年11月3日～11月12日 （負担額：2,302,340円） ○「第九」演奏会 ・平成29年12月23日 リハーサル ・平成29年12月24日 演奏会当日 （負担額：477,230円） ※下北文化会館会場使用料は、市財務部財務課で予算措置 ③共催・後援 ・共催承認 4件 ・後援承認 14件 ・協賛承認 1件
予算	予算総額 74,000 円 （内訳）補助金 74,000 円	決算	決算総額 74,000 円 （内訳）補助金 74,000 円

【成果】○文化賞・文化奨励賞受賞者の活動や作品を紹介する展示会を開催し、その功績を広く知らせることができた。また、市民がその優れた作品等を鑑賞することで、市の芸術文化の振興に寄与した。

○東京藝術大学で学び、全国レベルのコンクールで上位入賞した方の演奏を小中学生が鑑賞することで、芸術・文化への関心を高めるきっかけとなった。

【課題】○市民文化祭は、生涯学習の成果を発表する場であるとともに、訪れた市民が芸術や文化に親しむ場でもあるが、入場者数が減少傾向にあるため、開催方法や周知の方法について団体と協議する必要がある。

(5) 郷土の文化遺産の保護・保存と活用

事業名		文化財保護審議会の設置	
概要	文化財保護法の規定に基づき、むつ市における文化財の保存及び活用のため、むつ市文化財保護審議会を設置する。		
計画	○会議を開催する：年2回 ・委員定数：15人以内 ・任期：2年 ○下北地方文化財審議委員連絡協議会（下文審）の構成団体として活動	実績	○文化財保護審議会委員 ・任期：平成27年12月1日 ～平成29年11月30日 ・委員：15人 ・任期：平成29年12月1日 ～平成31年11月30日 ・委員：14人 ○文化財保護審議会会議：2回開催 ○下文審総会、前期研修会（むつ市） 13人参加 ○下文審後期研修会（むつ市） 10人参加
	予算		決算
	予算総額 755,000 円 (内訳) 報酬 436,000 円 費用弁償 287,000 円 消耗品費 15,000 円 負担金 17,000 円		決算総額 569,248 円 (内訳) 報酬 318,500 円 費用弁償 219,504 円 消耗品費 14,244 円 負担金 17,000 円

事業名	「北の防人大湊 貳番館」の管理・運営																																																										
概要	<p>文化活動や発表の場を提供し市民交流を図るとともに、重要文化財旧大湊水源地水道施設等を活用した、生涯学習の拠点施設として管理運営を行う。</p> <p>また、歴史や自然に親しんでもらうため、説明案内するガイドを養成するとともに、ガイドの拠点施設として活動を支援し、市民交流と観光交流の拡大を目指す。</p>																																																										
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○施設管理人を1人配置する。 ○事業を企画、実施する。 ○ガイド養成講座を開催する。 ○ガイド活動団体を支援する。 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ○施設管理人：2人（臨時職員） ○企画事業の実施：4回 ○ガイド養成講座の開催：受講2人 ○ガイド活動団体の支援 （活動保険13人分、活動に必要な物品等の購入） ○年間来館者数：6,620人 																																																								
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>予算総額</td> <td style="text-align: right;">5,228,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 賃 金</td> <td style="text-align: right;">1,585,000 円</td> </tr> <tr> <td>報 償 費</td> <td style="text-align: right;">75,000 円</td> </tr> <tr> <td>費用弁償</td> <td style="text-align: right;">150,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">776,000 円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td style="text-align: right;">383,000 円</td> </tr> <tr> <td>食 糧 費</td> <td style="text-align: right;">3,000 円</td> </tr> <tr> <td>燃 料 費</td> <td style="text-align: right;">13,000 円</td> </tr> <tr> <td>電 気 料</td> <td style="text-align: right;">700,000 円</td> </tr> <tr> <td>水 道 料</td> <td style="text-align: right;">22,000 円</td> </tr> <tr> <td>役 務 費</td> <td style="text-align: right;">203,000 円</td> </tr> <tr> <td>委 託 料</td> <td style="text-align: right;">993,000 円</td> </tr> <tr> <td>使 用 料</td> <td style="text-align: right;">25,000 円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td style="text-align: right;">300,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	5,228,000 円	(内訳) 賃 金	1,585,000 円	報 償 費	75,000 円	費用弁償	150,000 円	消耗品費	776,000 円	印刷製本費	383,000 円	食 糧 費	3,000 円	燃 料 費	13,000 円	電 気 料	700,000 円	水 道 料	22,000 円	役 務 費	203,000 円	委 託 料	993,000 円	使 用 料	25,000 円	備品購入費	300,000 円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>決算総額</td> <td style="text-align: right;">5,229,966 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 賃 金</td> <td style="text-align: right;">2,418,564 円</td> </tr> <tr> <td>報 償 費</td> <td style="text-align: right;">50,000 円</td> </tr> <tr> <td>費用弁償</td> <td style="text-align: right;">73,399 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">496,357 円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td style="text-align: right;">200,772 円</td> </tr> <tr> <td>食 糧 費</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> <tr> <td>燃 料 費</td> <td style="text-align: right;">4,590 円</td> </tr> <tr> <td>電 気 料</td> <td style="text-align: right;">923,306 円</td> </tr> <tr> <td>水 道 料</td> <td style="text-align: right;">21,504 円</td> </tr> <tr> <td>役 務 費</td> <td style="text-align: right;">217,434 円</td> </tr> <tr> <td>委 託 料</td> <td style="text-align: right;">824,040 円</td> </tr> <tr> <td>使 用 料</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> </table>	決算総額	5,229,966 円	(内訳) 賃 金	2,418,564 円	報 償 費	50,000 円	費用弁償	73,399 円	消耗品費	496,357 円	印刷製本費	200,772 円	食 糧 費	0 円	燃 料 費	4,590 円	電 気 料	923,306 円	水 道 料	21,504 円	役 務 費	217,434 円	委 託 料	824,040 円	使 用 料	0 円	備品購入費	0 円
予算総額	5,228,000 円																																																										
(内訳) 賃 金	1,585,000 円																																																										
報 償 費	75,000 円																																																										
費用弁償	150,000 円																																																										
消耗品費	776,000 円																																																										
印刷製本費	383,000 円																																																										
食 糧 費	3,000 円																																																										
燃 料 費	13,000 円																																																										
電 気 料	700,000 円																																																										
水 道 料	22,000 円																																																										
役 務 費	203,000 円																																																										
委 託 料	993,000 円																																																										
使 用 料	25,000 円																																																										
備品購入費	300,000 円																																																										
決算総額	5,229,966 円																																																										
(内訳) 賃 金	2,418,564 円																																																										
報 償 費	50,000 円																																																										
費用弁償	73,399 円																																																										
消耗品費	496,357 円																																																										
印刷製本費	200,772 円																																																										
食 糧 費	0 円																																																										
燃 料 費	4,590 円																																																										
電 気 料	923,306 円																																																										
水 道 料	21,504 円																																																										
役 務 費	217,434 円																																																										
委 託 料	824,040 円																																																										
使 用 料	0 円																																																										
備品購入費	0 円																																																										

事業名	民俗芸能の保存と伝承活動の支援		
概要	<p>民俗芸能の伝承団体等に対し、保存、伝承活動に関する助成金等の情報を提供し活動を支援する。</p>		
計画	○財団等助成金情報を提供する。	実績	○財団等助成金情報の提供 5件
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円

事業名		文化財収蔵庫の管理・運営																																	
概要	市内2ヶ所の文化財収蔵庫について、施設及び収蔵品の適正な管理（収蔵品の状態、所在確認と清掃等）に努める。 未整理の収蔵品に関しては調査、整理、データベース化等を行い、むつ地区においては重要文化財指定品を収蔵しているため、施設管理人を配置する。																																		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○施設管理人を1人配置する。 <ul style="list-style-type: none"> ・データ化作業（計測、写真撮影）、収集、管理 ○整理人夫による所在確認、清掃作業の実施 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ○施設管理人：1人（臨時職員） <ul style="list-style-type: none"> ・資料寄贈：3件・資料貸出：5件 ・写真提供：3件・資料調査：4件 ○整理人夫作業（3人） ○その他見学受入、学校への出前授業等 <ul style="list-style-type: none"> ・見学受入：29組179人 																																
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">予算総額</td> <td style="text-align: right;">4,732,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 賃金</td> <td style="text-align: right;">1,682,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">226,000 円</td> </tr> <tr> <td>電気料</td> <td style="text-align: right;">1,598,000 円</td> </tr> <tr> <td>水道料</td> <td style="text-align: right;">159,000 円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td style="text-align: right;">285,000 円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">757,000 円</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td style="text-align: right;">25,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	4,732,000 円	(内訳) 賃金	1,682,000 円	消耗品費	226,000 円	電気料	1,598,000 円	水道料	159,000 円	役務費	285,000 円	委託料	757,000 円	使用料	25,000 円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">決算総額</td> <td style="text-align: right;">4,108,908 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 賃金</td> <td style="text-align: right;">1,572,884 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">41,956 円</td> </tr> <tr> <td>電気料</td> <td style="text-align: right;">1,415,972 円</td> </tr> <tr> <td>水道料</td> <td style="text-align: right;">160,904 円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td style="text-align: right;">288,632 円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">628,560 円</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> </table>	決算総額	4,108,908 円	(内訳) 賃金	1,572,884 円	消耗品費	41,956 円	電気料	1,415,972 円	水道料	160,904 円	役務費	288,632 円	委託料	628,560 円	使用料	0 円
予算総額	4,732,000 円																																		
(内訳) 賃金	1,682,000 円																																		
消耗品費	226,000 円																																		
電気料	1,598,000 円																																		
水道料	159,000 円																																		
役務費	285,000 円																																		
委託料	757,000 円																																		
使用料	25,000 円																																		
決算総額	4,108,908 円																																		
(内訳) 賃金	1,572,884 円																																		
消耗品費	41,956 円																																		
電気料	1,415,972 円																																		
水道料	160,904 円																																		
役務費	288,632 円																																		
委託料	628,560 円																																		
使用料	0 円																																		

事業名		自然調査事業																					
概要	むつ市における貴重な動植物を継続調査することにより、生態系や希少生物の生息を把握する。また、その調査について文化財調査報告にまとめ情報発信する。																						
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○各種調査の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・芦崎自然調査：5回 ・釜臥山及び周辺調査 ○文化財調査報告第47集の刊行 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ○各種調査の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・芦崎自然調査：4回 (1回は悪天候により中止) ・釜臥山及び周辺調査：3回 ○文化財調査報告第47集300部刊行 																				
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">予算総額</td> <td style="text-align: right;">874,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td style="text-align: right;">333,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">10,000 円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td style="text-align: right;">519,000 円</td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td style="text-align: right;">12,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	874,000 円	(内訳) 報償費	333,000 円	消耗品費	10,000 円	印刷製本費	519,000 円	食糧費	12,000 円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">決算総額</td> <td style="text-align: right;">705,957 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td style="text-align: right;">340,910 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">856 円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td style="text-align: right;">356,400 円</td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td style="text-align: right;">7,791 円</td> </tr> </table>	決算総額	705,957 円	(内訳) 報償費	340,910 円	消耗品費	856 円	印刷製本費	356,400 円	食糧費	7,791 円
予算総額	874,000 円																						
(内訳) 報償費	333,000 円																						
消耗品費	10,000 円																						
印刷製本費	519,000 円																						
食糧費	12,000 円																						
決算総額	705,957 円																						
(内訳) 報償費	340,910 円																						
消耗品費	856 円																						
印刷製本費	356,400 円																						
食糧費	7,791 円																						

事業名		文化財保護関連事業、天然記念物保護関連事業																																									
概要	地域の貴重な文化財を後世に伝承すべく、各種調査、保護管理に努め、意識啓発を図る。また、特別天然記念物のニホンカモシカや、天然記念物の「下北半島のサルおよびサル生息北限地」について、文化財保護法の規定に基づき、地域の実情を考慮した保護及び保存に努める。																																										
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○周知の埋蔵文化財包蔵地(遺跡)関係 <ul style="list-style-type: none"> ・業者等の遺跡照会に対する窓口対応 ・遺跡内で開発行為が行われる場合及び遺跡外で大規模開発が行われる場合の事前協議を実施する。 ・状況に応じて予備調査(現場確認、踏査、試掘確認調査等)を実施する。 ○文化財防火デー(1月26日) <ul style="list-style-type: none"> ・文化庁、消防庁が主唱する文化財防火デーに合わせ、各消防署、各指定文化財所有者等と連携して防火活動を実施する。 ○文化財パトロール(県事業) <ul style="list-style-type: none"> ・県から委嘱された文化財保護指導員の文化財パトロールに立ち会い、指導員や文化財所有者等と密接に連携する。 ○ニホンカモシカ関係 <ul style="list-style-type: none"> ・死体の場合は死体処理及び滅失届を作成する。 ・生体の場合は現場の状況に応じて見守り、保護等の対応と通報者への説明を行う。 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ○周知の埋蔵文化財包蔵地(遺跡)関係 <ul style="list-style-type: none"> ・業者等による遺跡照会：312件 ・開発関連試掘確認調査：3件 ○文化財防火デー <ul style="list-style-type: none"> ・田名部地区：平成30年1月26日 火災防禦訓練：常念寺 火災予防査察：2件 ・大湊地区：平成30年1月25, 26日 火災予防査察：4件 ・川内地区：平成30年1月26日 火災防禦訓練：川内八幡宮 火災予防査察：4件 ・脇野沢地区：平成30年1月26日 火災予防査察：1件 ○文化財パトロール 遺跡：107件、国・県指定文化財：5件 ○ニホンカモシカ関係 目撃情報：7件、滅失届：9体 																																								
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">予算総額</td> <td style="text-align: right;">1,839,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>報酬</td> <td style="text-align: right;">13,000 円</td> </tr> <tr> <td>賃金</td> <td style="text-align: right;">673,000 円</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td style="text-align: right;">22,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">143,000 円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td style="text-align: right;">176,000 円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td style="text-align: right;">29,000 円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">763,000 円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td style="text-align: right;">20,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	1,839,000 円	(内訳)		報酬	13,000 円	賃金	673,000 円	報償費	22,000 円	旅費	143,000 円	需用費	176,000 円	役務費	29,000 円	委託料	763,000 円	備品購入費	20,000 円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">決算総額</td> <td style="text-align: right;">1,055,617 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>報酬</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> <tr> <td>賃金</td> <td style="text-align: right;">195,083 円</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td style="text-align: right;">12,616 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td style="text-align: right;">161,391 円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td style="text-align: right;">27,479 円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">642,092 円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td style="text-align: right;">16,956 円</td> </tr> </table>	決算総額	1,055,617 円	(内訳)		報酬	0 円	賃金	195,083 円	報償費	12,616 円	旅費	0 円	需用費	161,391 円	役務費	27,479 円	委託料	642,092 円	備品購入費	16,956 円
予算総額	1,839,000 円																																										
(内訳)																																											
報酬	13,000 円																																										
賃金	673,000 円																																										
報償費	22,000 円																																										
旅費	143,000 円																																										
需用費	176,000 円																																										
役務費	29,000 円																																										
委託料	763,000 円																																										
備品購入費	20,000 円																																										
決算総額	1,055,617 円																																										
(内訳)																																											
報酬	0 円																																										
賃金	195,083 円																																										
報償費	12,616 円																																										
旅費	0 円																																										
需用費	161,391 円																																										
役務費	27,479 円																																										
委託料	642,092 円																																										
備品購入費	16,956 円																																										

事業名		重要文化財保存修理事業（二枚橋2遺跡出土品）	
概要	平成24年9月に国の重要文化財に指定された「二枚橋2遺跡出土品」1,308点のうち、290点について、今後の保存活用のために修復する。		
計画	○専門業者に委託して修復業務を実施する。修復業務を進める際は、文化庁の指導監督を受け、当市担当者が立ち会う。 ・土器4点、耳飾15点の修復 ・耳飾計17点の一括保存台作成	実績	○修復業務 ・土器5点、耳飾15点の修復 ・耳飾計17点の一括保存台作成 ・指導監督、立会3回 (開始前、中間、最終)
予算	予算総額 3,693,000 円 (内訳) 旅 費 453,000 円 委 託 料 3,240,000 円	決算	決算総額 3,466,580 円 (内訳) 旅 費 226,580 円 委 託 料 3,240,000 円 決算総額のうち1,680,000円は国庫補助額

事業名		重要文化財保存修理事業（旧大湊水源地水道施設）	
概要	平成21年12月に国の重要文化財に指定された「旧大湊水源地水道施設」について、保存活用のため修理事業を実施する。		
計画	○旧大湊水源地水道施設修理事業を行う。	実績	○旧大湊水源地水道施設修理事業 ・乙水槽設計及び監理業務委託 ・乙水槽保存修理工事 ・大近川取水所設計業務委託
予算	予算総額 48,225,200 円 (内訳) 報 酬 39,000 円 旅 費 364,000 円 消 耗 品 費 10,000 円 役 務 費 0 円 委 託 料 18,299,800 円 工事請負費 29,512,400 円 原 材 料 費 0 円	決算	決算総額 41,393,090 円 (内訳) 報 酬 26,000 円 旅 費 262,328 円 消 耗 品 費 0 円 役 務 費 62,170 円 委 託 料 12,698,100 円 工事請負費 28,256,040 円 原 材 料 費 88,452 円 決算総額のうち19,694,000円は国庫補助額

- 【成果】**
- 「北の防人大湊 式番館」を活動拠点とするガイドグループについては、精力的に活動していただき、平成29年度は、14人のガイドで1,144人の方を案内していただいた。
 - 平成2年から継続してきた芦崎自然調査について、調査内容を報告する企画展とシンポジウムを開催し、芦崎の自然の多様性について市民に紹介することができた。
 - 文化財保護の観点から、埋蔵文化財包蔵地等の調査やパトロールのほか、文化財防火デーに合せた防火活動を実施し、包蔵地の不当な開発行為の抑止や所有者の文化財保護意識の醸成を図ることができた。
 - 二枚橋2遺跡出土品については、今後の保存活用に向けて修理事業を着実に進めることができた。
 - 旧大湊水源地水道施設については、乙水槽保存修理工事の完了に伴い、平成30年4月から5月にかけて工事内容を紹介する企画展を実施するとともに、乙水槽の上屋を公開して、市民の関心を深めることができた。
- 【課題】**
- ふるさとむつ市への愛着と誇りを育むためにも、重要文化財二枚橋2遺跡出土品をはじめとした、郷土の貴重な文化財を展示、活用するための施設の設置を検討する必要がある。
 - 文化財の保管について、一部の資料が閉校となった校舎等に保管されているが、現在の文化財収蔵庫に収蔵できる量ではないため、集約保管できる施設の確保が課題である。
 - 旧大湊水源地水道施設の乙水槽は当初計画において埋め戻す予定としていたが、水槽内の配管等の保存状態が良好であることから埋め戻さないこととした。水槽の安全安心な公開に向けて転落防止策の検討が必要である。



企画展「芦崎の自然」



企画展シンポジウム



文化財防火デー 園児の放水体験

3 学校教育課

【重点項目】

- (1) 小中一貫教育の充実
- (2) 質の高い教育課程の創造
- (3) 学力向上対策の充実
- (4) 生徒指導の充実と関係機関との連携強化
- (5) 特別支援教育体制の充実
- (6) 教育相談活動の充実
- (7) 国際化に対応する教育と、郷土に対する愛着と誇りを涵養する教育の推進
- (8) 教育研修センター講座等の充実
- (9) 弘前大学との連携強化
- (10) キャリア教育の充実

■ 重点項目の点検（平成29年度の具体的な取組状況） ■

(1) 小中一貫教育の充実

事業名		小中一貫教育推進事業	
概要	次代を担う人づくりに資するために、小・中学校間の連携・接続を図った教育課程を編成し、9年間を一貫としてとらえた指導体制や教育環境を創るための研究を深化させるとともに、今後の進むべき方向性を市内小・中学校全職員で確認し、学力向上と生徒指導の充実を図る。		
計画	○市内の9つの中学校ブロックへ、小中一貫教育の充実に資する研究を依頼する。	実績	○全9ブロックの研究実施計画書の作成、配付 ○全9ブロックの研究実施報告書の作成、配付 ○平成30年1月25日～1月26日 小中一貫教育全国サミット（京都府にて開催）への参加
予算	予算総額 30,000 円 負担金 30,000 円	決算	決算総額 30,000 円 負担金 30,000 円

事業名		むつ市小中一貫教育推進委員会事業	
概要	小中一貫教育の各ブロックの進捗状況について情報を共有し、9つの各ブロック長と協議を重ね、より一層の推進を図る。		
計画	○9つの各ブロック長による評価委員会を3回開催し、ブロックごとの成果と課題を確認し合う。	実績	○第1回推進委員会 平成29年7月7日 ・今年度の計画 ○第2回推進委員会 平成29年9月21日 ・意識調査の内容検討 ○第3回推進委員会 平成30年2月5日 ・意識調査の結果報告
予算	予算総額 97,506 円 旅費 97,506 円	決算	決算総額 92,797 円 旅費 92,797 円

事業名	小中一貫教育非常勤講師配置事業		
概要	小中一貫教育における乗り入れ授業（中学校教員による小学校での学習指導等）、小学校高学年一部教科担任制、きめ細かい学習指導、複式学級（一人の教員による複数学年での指導）解消など、学力向上と生徒指導の充実を図るため、非常勤講師として教員免許保持者を採用し各中学校ブロックに配置する。		
計画	○乗り入れ授業、小学校高学年一部教科担任制、きめ細かい学習指導、複式学級解消など、学力向上と生徒指導の充実を図るため、非常勤講師として9中学校ブロックに11人配置する。	実績	○平成29年4月1日から平成30年3月31日の期間、11人の非常勤講師を採用し、9中学校ブロックに1～2人（田名部中・大畑中ブロックは2人）配置した。
予算	予算総額 23,466,948 円 （内訳） 報酬 19,800,000 円 旅費 3,666,948 円	決算	決算総額 19,506,397 円 （内訳） 報酬 18,151,605 円 旅費 1,354,792 円

- 【成果】○小中一貫教育導入の目的である学力向上、不登校児童生徒減少の両アクションプランの達成について、青森県学習状況調査において県平均を小学校で0.6%下回ったものの、中学校では1.0%上回った。不登校の発生率については、微増傾向にある。
- 3回の推進委員会を通して、他のブロックの取組から実施可能なものを各ブロックで活かすとともに、むつ市教育プランに基づく児童生徒、保護者、教職員のアンケートを作成し、意識調査による成果と課題の把握を行った。

- 【課題】○小中一貫教育非常勤講師配置事業については、きめ細かい学習指導に向けた少人数指導・個別指導や、複式学級解消のための活用などに関する要望が学校から寄せられたものの、教員免許を所有する適任者の確保がより難しい状況となっている。

（2）質の高い教育課程の創造

事業名	むつ市学校教育指導の方針と重点に関する指導・支援事業		
概要	「指導の方針と重点」に係る説明会・研修会の開催、説明冊子の発行・配付及び学校計画訪問等により、むつ市学校教育の課題である学力の向上と生徒指導の充実に向けた教育活動がより一層推進されるよう指導・支援を行う。		
計画	○説明会・研修会の開催、説明冊子の発行・配付、指導主事による学校訪問（計画・要請）、初任者がむつ市の教育施設等について学ぶふるさと研修を実施する。	実績	○説明会・研修会を各1回開催、説明冊子を全教職員へ配付 ○全小・中学校への学校訪問とふるさと研修を実施
予算	予算総額 228,798 円 （内訳） 消耗品費 25,000 円 印刷製本費 201,798 円 医薬材料費 2,000 円	決算	決算総額 221,298 円 （内訳） 消耗品費 22,744 円 印刷製本費 196,992 円 医薬材料費 1,562 円

事業名	スタートカリキュラムモデルプラン作成事業		
概要	幼・保と小学校の円滑な接続のための「むつ市版スタートカリキュラムモデルプラン」を作成し、幼・保から小学校への移行がスムーズにできるようにする。		
計画	○「むつ市版スタートカリキュラムモデルプラン」を作成するための会議を3回開催する。	実績	○第1回作成会議 平成29年6月19日 ○第2回作成会議 平成29年9月4日 ○第3回作成会議 平成29年11月10日
予算	予算総額 26,952 円 (内訳) 旅 費 26,952 円	決算	決算総額 25,990 円 (内訳) 旅 費 25,990 円

- 【成果】**○指導の方針と重点についての説明会や、全小・中学校への計画訪問等を通じて、むつ市の教育課題解決に向けた取組と学習指導要領の趣旨を活かした教育課程の改善について周知し、必要とされる指導・助言を行うことができた。
○むつ市版スタートカリキュラムモデルプランを提示し各校での作成を推進した。
- 【課題】**○教員の多忙化に配慮しつつ、指導の方針と重点に沿って、むつ市と各校の教育課題の共通点を市内全小・中学校の課題として共通理解し、重点的な取組を組織的に進める必要がある。
○各校でのスタートカリキュラム作成状況を確認するとともに、スタートカリキュラムの効果的な推進を図る必要がある。

(3) 学力向上対策の充実

事業名	学力調査・知能検査実施事業		
概要	児童生徒対象の学力検査及び知能検査に関する実態把握を通し、学力向上に向けた基礎資料の作成を行う。		
計画	○むつ市総合学力調査を小学校5年生から中学校3年生まで実施する。 ○知能検査を小学校2年生、5年生、中学校1年生で実施する。	実績	○4月に小学校5年生から中学校3年生までを対象に学力調査を実施 ○4月に小学校2年生、5年生、中学校1年生を対象に知能検査を実施
予算	予算総額 4,510,500 円 (内訳) 消耗品費 405,000 円 委託料 4,105,500 円	決算	決算総額 4,342,860 円 (内訳) 消耗品費 393,460 円 委託料 3,949,400 円

事業名	SYENに関する研修会		
概要	学力分析システムSYENの研修会の開催により、児童生徒の学力向上に向けた教員の指導力の向上を図る。		
計画	○学力分析システムSYENの研修会を開催する。 (近川中学校ブロック、大畑中学校ブロック、脇野沢中学校ブロック)	実績	○7月に近川中学校ブロック、大畑中学校ブロック、脇野沢中学校ブロックで学力調査の分析システムの活用を図る研修会を開催
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円

※学力分析システムSYEN：個人及び集団の学力の状況を様々な視点から分析し、個々に応じた学習方法などを提示してくれるシステム

事業名	「活用型問題集」作成		
概要	むつ市総合学力調査及び青森県学習状況調査の結果を踏まえ、思考力・判断力・表現力等の豊かな児童生徒の育成につながる問題集を作成し、各校での活用を通して、授業改善や学力の向上を目指す。		
計画	○全国学習状況調査のB問題（主として活用に関する問題）に準じた思考力・判断力・表現力等の向上を目的とした問題集を作成する。	実績	○小学校6年生用4教科と中学校3年生用5教科の活用型問題集を作成
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円

事業名	デジタル教科書購入事業		
概要	児童生徒の学習面での課題（特に小学校算数）である思考力・判断力・表現力等の育成には、視聴覚機器を使用した活用型の授業改善が効果的なことから、デジタル教科書を購入する。		
計画	○むつ市の児童生徒の学力の向上を図るため、小学校算数、中学校英語の全学年にデジタル教科書を購入する。	実績	○小学校算数 55部 購入 ○小学校理科 3部 購入 ○中学校英語 21部 購入 ※学校の要望する教科を購入
予算	予算総額 2,034,720 円 (内訳) 消耗品費 2,034,720 円	決算	決算総額 2,109,240 円 (内訳) 消耗品費 2,109,240 円

事業名	新聞を活用した学習への支援事業		
概要	むつ市の小・中学生が新聞に親しみ、新聞を読む習慣を身に付けるとともに、授業等で新聞を活用した教育活動を推進するため、市内の全ての小学校の5年生以上及び中学校全学年の各学級（特別支援学級を含む）に1部ずつ新聞を配備する。		
計画	○市内全ての小学校の5年生以上及び中学校全学年の各学級（特別支援学級を含む）に1部ずつ新聞を配備する。	実績	○新聞配備部数 小学校 73部 中学校 74部 ○出前授業実施校 15校 ○保管用物品、教材等購入 ・新聞挟 248本 ・保管ラック 61個 ・保管ファイル 16冊 ・スクラップブック 38冊 ・書き写しノート 187冊 ○学校では、朝の会の時間などに新聞のコラムをノートに書き写したり、興味を持った記事をスクラップしたりして学習に活用した。
予算	予算総額 4,688,726 円 (内訳) 旅 費 8,960 円 消耗品費 4,679,766 円	決算	決算総額 3,631,920 円 (内訳) 旅 費 6,360 円 消耗品費 3,625,560 円

- 【成果】○3中学校ブロックにおいて、むつ市総合学力調査の学力分析システムSYENの効果的な活用方法を学ぶ研修会を実施し、達成率の低い問題の復習プリントを行うなど、児童生徒の指導に活かすことができた。
- 児童生徒の思考力・判断力・表現力等の向上に繋がる活用型問題集（ドリームワーク）を作成し、教職員研修講座等で周知することで、指導改善を促すことができた。
- 新聞を毎日読む児童が平成29年4月に比べ倍増した。また、半数以上の児童生徒がニュースや時事に関心を持ち、家族や友人と会話するようになった。（平成30年2月アンケート実施）

- 【課題】○平成30年度までに9中学校ブロック全てでSYEN研修会を実施するとともに、実施を終えた学校にも継続的な活用を促す必要がある。
- ドリームワークの効果的な活用に向けて、各学校への周知に努める必要がある。
- 新聞を読む時間を確保し、学習用教材や教具を引き続き整備していく必要がある。

（4）生徒指導の充実と関係機関との連携強化

事業名	生徒指導検査実施事業		
概要	学校環境適応感尺度「アセス」を実施し、児童生徒の対人関係能力を育成するとともに、学校の人的環境への適応を促進する。 「いじめ・不登校対策研修講座」を開催し、「アセス」を用いた児童生徒の学校適応感の測定と測定結果への対応の仕方を習得することにより、教員の指導力の向上を目指す。		
計画	○検査対象 小学校3年生から中学校3年生 ○「いじめ・不登校対策研修講座」でアセスの理論と具体的な活用方法を学び、各校で実践する。	実績	○実施時期や実施回数については、各校の実態に合わせて「アセス」を実施した。 ○成果と課題をまとめた生徒指導検査実施報告書を年度末に作成し、教育系イントラネット上に掲載することで校内研修の一助とした。
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円

※学校環境適応感尺度「アセス」：児童生徒の学級での適応状態や満足度を測る心理検査

事業名	いじめ問題対策委員会開催事業		
概要	むつ市のいじめ防止基本方針に基づく対策について、実施状況を定期的に点検及び評価し、不断の見直しを行う。		
計画	○いじめ問題対策委員委嘱状交付及びいじめ問題対策委員会を開催する。 (年1回、委嘱期間2年)	実績	○開催日：平成29年6月29日 ・委員10人（医師1人、心理・福祉関係3人、教育関係2人、健全育成関係4人、任期：平成29年7月1日～平成31年6月30日） ・前年度のいじめ防止に関する取組の報告と今年度の取組の予定を確認した。
予算	予算総額 112,775 円 (内訳) 報酬 52,000 円 旅費 30,775 円 負担金 30,000 円	決算	決算総額 106,964 円 (内訳) 報酬 52,000 円 旅費 24,964 円 負担金 30,000 円

事業名	むつ市いじめ防止宣言フォーラム開催		
概要	いじめ防止に対する取組を基に、児童生徒で話し合い、いじめ防止に向けた行動宣言を採択することでいじめ防止への意識を高める。		
計画	○平成29年11月9日 ・近川中学校ブロック	実績	○開催日：平成29年11月9日 ・いじめの未然防止に向けた各校の取組を発表（奥内小、近川中） ・「いじめ防止標語」の紹介と表彰 ・いじめ防止テーマソング「君のために」の合唱披露 ・参加者241人
予算	予算総額 30,000 円 (内訳) 消耗品費 30,000 円	決算	決算総額 30,000 円 (内訳) 消耗品費 30,000 円

事業名	学校危機管理マニュアル改訂		
概要	児童生徒等の安全を確保するため、危機等発生時において教職員が取るべき行動の具体的内容及び手順を定めた「学校危機管理マニュアル」を作成する。 「学校危機管理マニュアル」を製本し、市内各小・中学校に配付する。		
計画	○「学校危機管理マニュアル」作成のため策定委員会を3回開催する。 ○策定されたマニュアルの活用に向けた説明会を開催する。	実績	○第1回策定委員会 平成29年6月2日 ○第2回策定委員会 平成29年7月3日 ○第3回策定委員会 平成29年8月25日 ○学校危機管理マニュアル活用に係る説明会 平成29年9月26日
予算	予算総額 544,760 円 (内訳) 報償費 28,000 円 旅費 219,760 円 印刷製本費 297,000 円	決算	決算総額 417,928 円 (内訳) 報償費 0 円 旅費 126,328 円 印刷製本費 291,600 円

- 【成果】**
- 全小・中学校で学校環境適応感尺度「アセス」を実施するとともに、教職員研修講座で自校の児童生徒の変容を把握するための分析方法を研修することで、学年・学級経営や生徒指導上の問題解決に向けた取組を推進した。
 - 「むつ市いじめ問題対策委員会」を開催し、むつ市におけるいじめ防止の対策について協議した。
 - 「むつ市いじめ防止宣言フォーラム」を近川中学校ブロックで開催し、児童生徒主体のいじめ防止に向けた話し合いを行った。また、いじめ防止のテーマ曲を児童生徒全員で披露し、いじめの未然防止を地域全体に呼びかけた。
 - 学校危機管理マニュアル改訂については、この10年の災害等をふまえ、原子力災害、武力攻撃、児童虐待、不審電話、鳥獣被害、食物アレルギーの内容を加えるとともに、説明会を行い、各校の危機管理マニュアル見直しについても依頼した。
- 【課題】**
- 学校環境適応感尺度「アセス」の結果を分析し、学年・学級経営や生徒指導上の課題や対応状況についてまとめた「生徒指導検査実施報告書」を各校に配付するとともに、得られた情報を今後も継続的に指導に活かしていく必要がある。
 - むつ市のいじめ防止基本方針の改定に伴い、被害が深刻化する前に迅速・適切に対応することで重大事態を防止するとともに、各校の方針が見直されていることを確認し、いじめ防止プログラムの策定を進める必要がある。
 - 危機管理マニュアルの見直しを各校で確実に進めることについて、学校訪問で再確認するとともに、日常の安全管理と安全指導の充実を図る必要がある。



むつ市いじめ防止宣言フォーラム

(5) 特別支援教育体制の充実

事業名	スクールサポーター配置事業		
概要	小・中学校の通常学級並びに特別支援学級に在籍する多動傾向や要介助など、特別な配慮を必要とする児童生徒の学校生活や学習活動を支援するため、各学校にスクールサポーターを配置し、特別支援教育体制の充実に努める。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○30人を配置する。 ○1日5時間50分以内、年間1,185時間以内で活用する。 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ○30人を配置(任期) ・平成29年4月1日～平成30年3月31日 ○1日5時間50分以内、年間1,185時間以内で活用した。 ○小学校：9校 23人 中学校：4校 7人 の配置
予算	予算総額 34,023,628 円 (内訳) 報酬 31,284,000 円 旅費 2,739,628 円	決算	決算総額 33,739,005 円 (内訳) 報酬 30,704,080 円 旅費 3,034,925 円

事業名		就学指導説明会・就学相談研修会開催事業		
概要	未就学児及び児童生徒の適切な就学に向けて、保育所（園）・幼稚園と小・中学校が連携しながら、見通しをもって、より充実した就学相談及び就学指導を行うことができるようにする。			
計画	○市内小・中学校の特別支援教育コーディネーター及び保育所（園）・幼稚園の就学相談担当者を対象に就学指導説明会・就学相談研修会を開催する。	実績	○平成29年5月9日に就学指導説明会・就学相談研修会を実施し、コーディネーター等26人、保育所（園）・幼稚園の就学相談担当者22人、及び他村（佐井村、東通村）の就学指導担当者3人が参加した。 ○就学指導の手続きの説明、就学相談における問題点についてのグループ協議や情報交換を行った。 ○各関係機関等との連携が図られ、早期の就学相談が進められた。	
予算	予算額	0 円	決算 決算額	0 円

事業名		特別支援教育推進委員会開催事業		
概要	特別支援教育推進委員会を開催し、適切な教育環境のもとで能力及び特性に応じたきめ細かな指導や、適切な就学ができるよう指導・助言を行う。また、総合判断並びに学校の要請による専門検査及び医学検査を実施する。			
計画	○年4回の開催だが、学校や保護者の要望により、臨時の特別支援教育推進委員会を開催する。委員会の総合判断の結果を教育長に具申する。	実績	○定期開催の特別支援教育推進委員会を4回開催するとともに、臨時の特別支援教育推進委員会を16回開催した。委員会の総合判断に基づき、計73人の就学指導を行った。 ○定期開催分 ・第1回目：平成29年5月11日 委員14人 専門調査員7人 ・第2回目：平成29年9月14日 委員15人 専門調査員7人 ・第3回目：平成29年12月7日 委員16人 専門調査員6人 ・第4回目：平成30年2月8日 委員16人	
予算	予算総額	852,000 円	決算 決算総額	590,738 円
	(内訳) 報酬	190,000 円	(内訳) 報酬	104,000 円
	旅費	511,600 円	旅費	400,150 円
	消耗品費	59,400 円	消耗品費	48,168 円
	手数料	75,000 円	手数料	22,420 円
	負担金	16,000 円	負担金	16,000 円

- 【成果】**○スクールサポーターの配置により、特別な教育的配慮を要する児童生徒への支援が可能となり、一人一人の教育的ニーズに応じた教育活動が行われている。
- 全小・中学校で特別支援教育コーディネーターを中心に、組織的な指導が行われている。
- 就学指導説明会・就学相談研修会では、学区毎に、保育所（園）・幼稚園と小・中学校の情報交換を行うことができ、就学相談や入学後の指導に関する連携の一助となった。
- 特別支援教育推進委員会の総合判断をもとに、適切な就学が進められている。
- 【課題】**○特別な教育的配慮を必要とする児童生徒は、個々の状況に応じた支援が必要であり、スクールサポーター配置の要望も多いため、配置を継続するとともに、性別を問わない人材の確保及び資質向上のための研修が必要である。
- 適切な就学相談や教育的支援が行えるよう、各学校における特別支援教育コーディネーターの専門性を高めるとともに、校内委員会を有効に機能させることが不可欠である。また、個別の指導計画及び個別の教育支援計画の作成と活用をさらに充実させる必要がある。
- 適切な就学を目指し、早期からの就学相談や各機関との連携を深め、幼保・小・中の研修講座の充実など、連携強化を図る必要がある。
- 専門検査を必要とする児童生徒が増える中、検査を行うことのできる教員が不足しているため、むつ市教育研修センターの心理検査実技研修講座の充実や退職者への依頼など、計画的に検査ができる教員を確保する必要がある。

(6) 教育相談活動の充実

事業名	むつ市教育相談室開設事業																		
概要	いじめや不登校などの悩みを抱える児童生徒及び保護者、教職員に対する一般教育相談・就学相談並びに適応指導などを行うことによって、児童生徒が健全に成長するよう援助する。																		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○教育相談員2人を配置する。 ○むつ市教育研修センターにむつ市教育相談室を開設し、教育相談員を中心に児童生徒とその保護者、学校関係者に対する相談業務を行う。 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ○教育研修センターに教育相談員を配置：2人 (任期) ・平成29年4月1日～平成30年3月31日 ○教育相談 <ul style="list-style-type: none"> ・来室 1,065件 ・電話 2件 ・家庭訪問 0件 																
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">予算総額</td> <td style="text-align: right;">3,045,496 円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">(内訳) 報酬</td> <td style="text-align: right;">2,732,400 円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">報償費</td> <td style="text-align: right;">84,000 円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">旅費</td> <td style="text-align: right;">229,096 円</td> </tr> </table>	予算総額	3,045,496 円	(内訳) 報酬	2,732,400 円	報償費	84,000 円	旅費	229,096 円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">決算総額</td> <td style="text-align: right;">1,970,411 円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">(内訳) 報酬</td> <td style="text-align: right;">1,761,200 円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">報償費</td> <td style="text-align: right;">56,000 円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">旅費</td> <td style="text-align: right;">153,211 円</td> </tr> </table>	決算総額	1,970,411 円	(内訳) 報酬	1,761,200 円	報償費	56,000 円	旅費	153,211 円
予算総額	3,045,496 円																		
(内訳) 報酬	2,732,400 円																		
報償費	84,000 円																		
旅費	229,096 円																		
決算総額	1,970,411 円																		
(内訳) 報酬	1,761,200 円																		
報償費	56,000 円																		
旅費	153,211 円																		

事業名		適応指導教室開設事業																									
概要	むつ市教育相談室に適応指導教室を開設し、不登校をはじめとする学校不適応などの課題を抱える児童生徒の学校復帰に向けた指導と支援を行う。																										
計画	○不登校等の問題を抱える児童生徒への支援の充実を図る。	実績	○市内及び他町村の中学生を通室生として受け入れ適応指導を行った。 ・通室生：2人 ・時間数：延べ889時間 ○実施した行事等 始業式、終業式、ハイキング、テニス教室、音楽教室、自然体験活動、文化祭、調理実習																								
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>122,140 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 消耗品費</td> <td>100,000 円</td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td>2,000 円</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>1,140 円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>14,000 円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>5,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	122,140 円	(内訳) 消耗品費	100,000 円	食糧費	2,000 円	使用料	1,140 円	備品購入費	14,000 円	負担金	5,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>106,613 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 消耗品費</td> <td>83,831 円</td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td>3,280 円</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>570 円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>13,932 円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>5,000 円</td> </tr> </table>	決算総額	106,613 円	(内訳) 消耗品費	83,831 円	食糧費	3,280 円	使用料	570 円	備品購入費	13,932 円	負担金	5,000 円
予算総額	122,140 円																										
(内訳) 消耗品費	100,000 円																										
食糧費	2,000 円																										
使用料	1,140 円																										
備品購入費	14,000 円																										
負担金	5,000 円																										
決算総額	106,613 円																										
(内訳) 消耗品費	83,831 円																										
食糧費	3,280 円																										
使用料	570 円																										
備品購入費	13,932 円																										
負担金	5,000 円																										

事業名		自立支援相談員配置事業													
概要	不登校などの教育上の諸問題を抱える児童生徒に対して家庭訪問や学校訪問を行い、教育相談活動を実施する。また、適応指導教室に通室している児童生徒の実情を細かく把握し、適切な援助を行う。														
計画	○自立支援相談員を6人配置する。 ○不登校または不登校傾向にある児童生徒への支援の充実を図る。	実績	○教育研修センターに自立支援相談員を配置：6人 (任期) ・平成29年4月1日～平成30年3月31日 ○適応指導教室通室生2人に対し、延べ889時間の支援を行った。												
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>7,033,430 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>6,256,800 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>776,630 円</td> </tr> </table>	予算総額	7,033,430 円	(内訳) 報酬	6,256,800 円	旅費	776,630 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>6,493,510 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>6,095,760 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>397,750 円</td> </tr> </table>	決算総額	6,493,510 円	(内訳) 報酬	6,095,760 円	旅費	397,750 円
予算総額	7,033,430 円														
(内訳) 報酬	6,256,800 円														
旅費	776,630 円														
決算総額	6,493,510 円														
(内訳) 報酬	6,095,760 円														
旅費	397,750 円														

- 【成果】○むつ市教育相談室開設事業については、教育相談に訪れた児童生徒の通学する学校と情報交換を密に行うことで、児童生徒が抱える悩みや諸問題の解決に向けて支援することができた。
- 郡内の4町村において「サテライト相談室」を開設し、不登校傾向の児童生徒の保護者等と面談するとともに、在籍校とも情報交換等を行うなどの連携をすることができた。
- 適応指導教室開設事業については、通室生一人一人の実態に応じた支援や集団活動が可能になり、適応指導を計画的に進めることができた。また、集団活動により、通室生についての理解が一層深まったことが、支援の充実につながった。通室生の状況に応じた短期目標を設定し、その都度、達成に向けた支援をするなどしたこと、2名のうち1名が学校復帰、1名が定期的な登校に至った。
- 【課題】○むつ市教育相談室開設事業については、現在は教育相談員が教育相談の業務と適応指導教室の運營業務とを兼務する形になっている。今後、保護者面談等の一層の充実を図るために、教育相談室と適応指導教室の運営体制を見直す必要がある。
- 学校復帰に向けた短期目標の設定については、保護者と同一歩調で支援にあたるよう、定期的に保護者との面談を実施する必要がある。また、学校復帰についての支援を進めるため、在籍校と連携しながら、段階的に登校体験をさせる必要がある。

(7) 国際化に対応する教育と、郷土に対する愛着と誇りを涵養する教育の推進

事業名		外国語指導助手（ALT）派遣事業	
概要	小学校での外国語活動、中学校での英語科、小・中学校における諸活動にALTを派遣することによって、日常的な国際理解教育の充実を目指す。		
計画	○ALT3人のうち、小学校2人、中学校1人を配置し、外国語活動、英語科の授業等において活用を図る。	実績	○ALTを配置し、小学校5、6年外国語活動において、年間1学級あたり約25時間、中学校では約15時間活用した。 ○3月には、市内小学校6年生を対象とした英会話ワークショップ“Enjoy English”に13人の児童が参加した。
予算	予算総額 12,576,781 円 (内訳) 報酬 11,113,104 円 旅費 1,172,607 円 保険料 75,070 円 負担金 216,000 円	決算	決算総額 12,202,035 円 (内訳) 報酬 11,182,824 円 旅費 728,141 円 保険料 0 円 負担金 291,070 円

事業名	むつ市ジュニア大使派遣事業																																						
概要	むつ市内の中学生をアメリカ合衆国ポートエンジェルス市に派遣し、姉妹都市交流の充実を目指すとともに、次代を担う人材の育成を図る。																																						
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○中学生10人を8日間の行程で派遣する。 ○事前・事後研修会、結団式、報告会の開催及び報告書を作成する。 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ○平成30年1月4日～1月11日までの8日間の日程で中学生10人を派遣した。 ○「将来のまちづくり共同宣言」に基づき、両市のまちづくりについて意見交換を行った。 ○事前・事後研修会の開催及び報告書を作成した。 																																				
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">予算総額</td> <td style="text-align: right;">5,538,175 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td style="text-align: right;">88,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">296,980 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">54,000 円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td style="text-align: right;">79,380 円</td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td style="text-align: right;">120,000 円</td> </tr> <tr> <td>電話料</td> <td style="text-align: right;">11,610 円</td> </tr> <tr> <td>郵便宅配料</td> <td style="text-align: right;">12,780 円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">4,875,425 円</td> </tr> </table>	予算総額	5,538,175 円	(内訳) 報償費	88,000 円	旅費	296,980 円	消耗品費	54,000 円	印刷製本費	79,380 円	食糧費	120,000 円	電話料	11,610 円	郵便宅配料	12,780 円	委託料	4,875,425 円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">決算総額</td> <td style="text-align: right;">4,383,244 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td style="text-align: right;">67,650 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">877,035 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">53,582 円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td style="text-align: right;">51,840 円</td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td style="text-align: right;">119,949 円</td> </tr> <tr> <td>電話料</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> <tr> <td>郵便宅配料</td> <td style="text-align: right;">1,631 円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">3,211,557 円</td> </tr> </table>	決算総額	4,383,244 円	(内訳) 報償費	67,650 円	旅費	877,035 円	消耗品費	53,582 円	印刷製本費	51,840 円	食糧費	119,949 円	電話料	0 円	郵便宅配料	1,631 円	委託料	3,211,557 円
予算総額	5,538,175 円																																						
(内訳) 報償費	88,000 円																																						
旅費	296,980 円																																						
消耗品費	54,000 円																																						
印刷製本費	79,380 円																																						
食糧費	120,000 円																																						
電話料	11,610 円																																						
郵便宅配料	12,780 円																																						
委託料	4,875,425 円																																						
決算総額	4,383,244 円																																						
(内訳) 報償費	67,650 円																																						
旅費	877,035 円																																						
消耗品費	53,582 円																																						
印刷製本費	51,840 円																																						
食糧費	119,949 円																																						
電話料	0 円																																						
郵便宅配料	1,631 円																																						
委託料	3,211,557 円																																						

事業名	中華民国陽明國民中学との友好交流事業																														
概要	旧川内町立川内中学校と中華民国陽明國民中学の姉妹校交流を引き継ぎ、中華民国から中学生と教職員を受け入れ、学校訪問等を通して交流を図る。																														
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○中華民国陽明國民中学からの訪問団を受け入れ、学校訪問等とおして交流する。 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ○訪問無し (中華民国陽明國民中学から、諸事情により訪問できなくなった旨の連絡があった。) 																												
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">予算総額</td> <td style="text-align: right;">487,870 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td style="text-align: right;">70,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">20,440 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">45,000 円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td style="text-align: right;">35,000 円</td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td style="text-align: right;">275,000 円</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td style="text-align: right;">42,430 円</td> </tr> </table>	予算総額	487,870 円	(内訳) 報償費	70,000 円	旅費	20,440 円	消耗品費	45,000 円	印刷製本費	35,000 円	食糧費	275,000 円	使用料	42,430 円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">決算総額</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> </table>	決算総額	0 円	(内訳) 報償費	0 円	旅費	0 円	消耗品費	0 円	印刷製本費	0 円	食糧費	0 円	使用料	0 円
予算総額	487,870 円																														
(内訳) 報償費	70,000 円																														
旅費	20,440 円																														
消耗品費	45,000 円																														
印刷製本費	35,000 円																														
食糧費	275,000 円																														
使用料	42,430 円																														
決算総額	0 円																														
(内訳) 報償費	0 円																														
旅費	0 円																														
消耗品費	0 円																														
印刷製本費	0 円																														
食糧費	0 円																														
使用料	0 円																														

事業名	ジオパーク体験活動推進事業																																		
概要	ジオサイトの見学やジオサイトに関する学習を実施する小・中学校に対して、移動に要するバス借上料や教材等の活動費等を助成する。																																		
計画	○ジオサイトを活用した校外学習にあたって、必要な経費の一部を助成する。	実績	○小学校9校、中学校5校に助成した。 なお、ジオパークの学習は22校全ての学校で実施した。																																
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>2,000,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>1,000,000 円</td> </tr> <tr> <td>自動車借上料</td> <td>1,000,000 円</td> </tr> <tr> <td>衣装借上料</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>恐山入山料</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>観光船利用料</td> <td>0 円</td> </tr> </table>	予算総額	2,000,000 円	(内訳) 報償費	0 円	旅費	0 円	消耗品費	1,000,000 円	自動車借上料	1,000,000 円	衣装借上料	0 円	恐山入山料	0 円	観光船利用料	0 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>1,707,731 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>28,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>30,857 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>230,774 円</td> </tr> <tr> <td>自動車借上料</td> <td>1,355,100 円</td> </tr> <tr> <td>衣装借上料</td> <td>13,000 円</td> </tr> <tr> <td>恐山入山料</td> <td>8,600 円</td> </tr> <tr> <td>観光船利用料</td> <td>41,400 円</td> </tr> </table>	決算総額	1,707,731 円	(内訳) 報償費	28,000 円	旅費	30,857 円	消耗品費	230,774 円	自動車借上料	1,355,100 円	衣装借上料	13,000 円	恐山入山料	8,600 円	観光船利用料	41,400 円
予算総額	2,000,000 円																																		
(内訳) 報償費	0 円																																		
旅費	0 円																																		
消耗品費	1,000,000 円																																		
自動車借上料	1,000,000 円																																		
衣装借上料	0 円																																		
恐山入山料	0 円																																		
観光船利用料	0 円																																		
決算総額	1,707,731 円																																		
(内訳) 報償費	28,000 円																																		
旅費	30,857 円																																		
消耗品費	230,774 円																																		
自動車借上料	1,355,100 円																																		
衣装借上料	13,000 円																																		
恐山入山料	8,600 円																																		
観光船利用料	41,400 円																																		

- 【成果】○ALTとの授業や交流を通じて、児童生徒の語学力を育成するとともに、広い視野から互いの国の文化等を認め合うことができた。
○ジュニア大使派遣事業を通じて、派遣生徒の国際理解や交流が十分に図られた。
○ジオサイトの魅力に気づき、地域への関心や愛着が高まった。

- 【課題】○ジュニア大使派遣事業については、まちづくりへの意識を一層高めるため、「まちづくり共同宣言」に関わる意見交換の、事前研修会を一層充実させるとともに、受入校との打合せをより綿密に行う必要がある。
○ジオパーク体験活動推進事業については、体験をより有意義なものにするために、ガイド派遣による事前・事後学習を含めた時間の確保が求められる。

(8) 教育研修センター講座等の充実

事業名	教職員研修講座開設事業																		
概要	教職員の専門性や資質の向上を図り、実践的な指導力を高めるために授業改善等に係る研修講座を開催する。																		
計画	○弘前大学教育学部との連携による授業づくり講座など18講座を開催する。	実績	○18講座を開催し延べ589人が受講した。																
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>306,815 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>156,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>100,815 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>50,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	306,815 円	(内訳) 報償費	156,000 円	旅費	100,815 円	消耗品費	50,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>228,118 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>109,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>68,038 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>51,080 円</td> </tr> </table>	決算総額	228,118 円	(内訳) 報償費	109,000 円	旅費	68,038 円	消耗品費	51,080 円
予算総額	306,815 円																		
(内訳) 報償費	156,000 円																		
旅費	100,815 円																		
消耗品費	50,000 円																		
決算総額	228,118 円																		
(内訳) 報償費	109,000 円																		
旅費	68,038 円																		
消耗品費	51,080 円																		

- 【成果】○授業づくり講座は、児童生徒の学力向上に直結する内容であり、受講者からは概ね高い評価を受けており、教育の資質・能力の向上に資することができた。
- 関連事業である、新聞を活用した学習への支援事業やジオパーク体験活動推進事業、スタートカリキュラムの内容を講座で取り上げることで、より効果的な実践が行われるようにした。
- 【課題】○各校の教職員のニーズに応じるとともに、新学習指導要領に対応したより実践的な講座にしていかなければならない。
- むつ市学校教育の課題を解決するために、活用力育成講座を新設し、思考力・判断力・表現力等の育成を図る必要がある。
- 教育系イントラネットを活用し、受講者以外にも積極的に関連資料等に関する情報発信をするため、活用型問題集に加え、新聞を活用した問題や提案資料をアップロードしていく必要がある。

(9) 弘前大学との連携強化

事業名		教育研修センター講座等連携事業	
概要	弘前大学教育学部との連携による国語、算数・数学、社会、理科、外国語活動・英語の「授業づくり講座」を実施し、下北・むつ市内の各小・中学校から必修で参加する中で、思考力・判断力・表現力等の育成を中心とした活用型の授業づくりを推進する。 また、「心と体の健康教育講座」を実施し、子どもの心と体に関する今日的な課題への対応を進める。		
計画	○5教科の授業づくり講座を開催し、テーマを活用型の授業づくりの研修会とする。小規模校からの参加にあたっては、過度な負担を課さないよう配慮する。	実績	○国語：40人 ○算数・数学：40人 ○社会：33人 ○理科：33人 ○外国語活動・英語：34人 ○心と体の健康教育：荒天のため中止
予算	予算総額 306,815 円 (内訳) 報償費 156,000 円 旅費 100,815 円 消耗品費 50,000 円	決算	決算総額 228,118 円 (内訳) 報償費 109,000 円 旅費 68,038 円 消耗品費 51,080 円

事業名		ラボ・バス実験教室	
概要	ラボ・バス実験教室では、科学実験を行うことをとおして科学への関心を高めるとともに、大学生との交流によるキャリア教育の充実を図る。		
計画	○大畑小学校、正津川小学校、二枚橋小学校を対象とし、弘前大学教育学部の教授、学生等が指導する「ラボ・バス実験教室」を開催する。	実績	○液体窒素を使った冷凍実験、ガスを使った大砲実験等を実施した。 ○参加者 ・大畑小学校6年生：43人 ・正津川小学校6年生：6人 ・二枚橋小学校6年生：1人
予算	予算総額 47,500 円 (内訳) 消耗品費 47,500 円	決算	決算総額 47,500 円 (内訳) 消耗品費 47,500 円

※ラボ・バス：弘前大学が制作したバスで、「走る実験室」とも呼ばれ、電子顕微鏡等の科学機器を搭載し、県内各地で実験教室を開催している。

事業名	「健康の未来」を変えるプロジェクト授業		
概要	<p>社会医学の第一人者である弘前大学大学院医学研究科の中路重之特任教授の協力を得て、むつ市の健康課題の解決に向けた系統的な授業モデルと推進体制の構築に向け取り組む。</p> <p>健康教育の授業年間複数回TT（ティームティーチング）で行い、実践資料集（報告書）を作成する。</p>		
計画	<p>○実施校の選定を行う。</p> <p>○開催に向けて日程調整を行う。</p> <p>○保護者の参加を呼びかける。</p>	実績	<p>○平成29年7月13日 大平小学校実施 4年生76人、保護者</p> <p>○平成29年7月25日 田名部中学校実施 1年生205人、保護者</p> <p>○平成29年11月15日 川内小学校実施 5年生25人、保護者</p> <p>○平成29年12月7日 近川中学校実施 全校生徒31人、保護者等</p>
予算	<p>予算総額 634,400 円</p> <p>(内訳) 報 償 費 5,000 円</p> <p>旅 費 261,040 円</p> <p>消 耗 品 費 269,000 円</p> <p>印刷製本費 99,360 円</p>	決算	<p>決算総額 356,726 円</p> <p>(内訳) 報 償 費 0 円</p> <p>旅 費 99,240 円</p> <p>消 耗 品 費 158,126 円</p> <p>印刷製本費 99,360 円</p>

- 【成果】○教育研修センター講座等連携事業については、むつ市教育プランにおける学力向上アクションプランの実現に向けて、校内研修の一環として講座に参加したり、市全体の課題である活用型の授業づくりに取り組んだりするなど、各校で授業改善が進められた。
- ラボ・バス実験教室では、普段経験できない実験を実施し科学に対する関心を高めるよい機会となった。
- 「健康の未来」を変えるプロジェクト授業では、4つの小・中学校で授業を行い、実践資料集を刊行することで、その取組を周知することができた。
- ※アクションプラン：平成29年度からの5年間で、青森県学習状況調査の各教科平均通過率を県平均より3ポイント以上上回ることに、不登校児童生徒の発生率を県平均以下にすること。

- 【課題】○教育研修センター講座等連携事業については、新学習指導要領の趣旨をより深く理解し、活用力育成に向けた実践的な研修を推進するために、各講座担当指導主事が全国的な研修会に参加するなどして、講座内容の改善を図る必要がある。
- ラボ・バス実験教室をとおり、より多くの児童に学習機会を提供するとともに、科学のおもしろさを実感させながら大学生との交流をより深める運営の工夫を行う必要がある。
- 「健康の未来」を変えるプロジェクト授業については、学校訪問や、むつ市教育研修センターの「心と体の健康教育講座」において、その実践の周知を進め、望ましい生活習慣づくりに取り組む学校を増やしていく必要がある。

(10) キャリア教育の充実

事業名	むつ市子ども夢育成基金事業		
概要	むつ市の小・中学生の文化、芸術、スポーツ、体験事業・研修派遣等を積極的に支援し、むつ市を担う子どもたちを育成するための安定的財源確保を目的とした基金を設立する。		
計画	○むつ市の小・中学生の文化・芸術活動大会派遣に補助する。 ○むつ市の小・中学生のスポーツ活動大会派遣に補助する。	実績	○むつ市の小・中学生の文化・芸術活動大会派遣補助 1,050,500円 ○むつ市の小・中学生のスポーツ活動大会派遣補助 4,910,100円 ○基金積立金 5,024,000円 ○寄附金積立金 7件 442,596円 ○利子収入積立金 954円 ○平成29年度末基金残高 9,038,859円 ※平成28年度末基金残高 9,551,381円
予算	予算総額 10,025,260 円 (内訳) 補助金 5,000,000 円 積立金 5,025,260 円	決算	決算総額 11,428,150 円 (内訳) 補助金 5,960,600 円 積立金 5,467,550 円

事業名	むつ市こども議会		
概要	むつ市の中学生が、議会体験をとおして市政と市議会の仕組みを理解するとともに、次代を担う市民としての自覚を深める一助とする。		
計画	○9月市議会の傍聴体験を開催する。 ○11月こども議会を開催する。	実績	○学校担当者会議：平成29年7月3日 ○市議会傍聴体験：平成29年9月6日、7日 ○こども議会開催：平成29年11月14日 こども議員 9校 17名
予算	予算総額 447,802 円 (内訳) 旅費 79,302 円 消耗品費 30,000 円 印刷製本費 145,200 円 食糧費 13,300 円 委託料 100,000 円 借上料 80,000 円	決算	決算総額 287,076 円 (内訳) 旅費 79,265 円 消耗品費 29,559 円 印刷製本費 126,700 円 食糧費 11,052 円 委託料 40,500 円 借上料 0 円



こども議会の様子

事業名	むつ市中学生夢はぐくむ体験入学事業		
概要	<p>大学での体験活動をとおして、将来の職業に対する意識と学習意欲を向上させるとともに、各中学校でのキャリア教育推進の一助とする。</p> <p>地域の医療や住民の健康状態等の現状と課題を知らせ、健康に対する意識を高め、健康的な生活を送る態度を育てるとともに、地域の課題解決に向けて積極的に関わろうとする意欲を持たせる。</p>		
計画	<p>○青森中央学院大学で体験活動を行う。</p> <p>○対象となる市内中学生を募集する。(定員30人)</p>	実績	<p>○開催日：平成29年8月16日</p> <p>・参加人数16人 (田名部中、むつ中、関根中、大平中、大湊中、大畑中、脇野沢中)</p> <p>・花田勝美学長による特別講演、キャンパスツアー、模擬授業、実習体験、ワークショップ</p>
予算	<p>予算総額 24,000 円</p> <p>(内訳) 食糧費 24,000 円</p>	決算	<p>決算総額 21,966 円</p> <p>(内訳) 食糧費 21,966 円</p>

事業名	関係機関との連携（理科教室、海洋教室）		
概要	<p>海洋研究開発機構むつ研究所による海洋教室や、東北放射線科学センターによる理科教室を行うことにより、科学への関心を高めるとともに、研究者との交流を通じて、夢と希望を育てる。</p>		
計画	<p>○小・中学校において、海洋教室及び理科教室を開催する。</p>	実績	<p>○海洋教室</p> <p>・平成29年10月26日 川内小学校5年生25人 川内中学校2年生40人</p> <p>○理科教室</p> <p>・平成29年7月19日 第二田名部小学校6年生78人</p> <p>・平成29年11月28日 田名部中学校1年生193人</p> <p>・平成29年12月19日 大湊小学校6年生20人</p>
予算	<p>予算額 0 円</p>	決算	<p>決算額 0 円</p>

- 【成果】○むつ市子ども夢育成基金事業については、団体だけでなく個人の申請も多くなっているが、必要とされる支援を継続的に行っている。
- むつ市子ども議会については、中学生の関心が高まり、「ネットいじめ防止の約束提案書」を採択し、子ども議会の意義を学ぶことができた。
- むつ市中学生夢はぐくむ体験入学事業での参加者の事後アンケート結果によると大学等への関心や進学希望率が高くなった。
- 関係機関との連携では、専門家の指導による実験を行うことで、科学への関心を高めることができた。
- 【課題】○むつ市子ども夢育成基金事業については、申請数の増加に伴い補助金の額も多くなっているため基金の取り崩しが多く、事業を継続していくための財源確保が必要となっている。
- むつ市子ども議会については、その教育的価値が高いことから、今後も関係者の協力を得ながら内容を充実させるとともに、学校の負担を減らす工夫が必要である。
- むつ市中学生夢はぐくむ体験入学事業については、将来の職業選択（医療関係等）の一助とするために学校訪問でPRするなど、参加生徒を増やす努力が必要である。
- 関係機関との連携では、科学への関心を高めるとともに、専門家との交流を通じて夢と希望をはぐくめるよう運営の工夫を図る必要がある。

4 公民館（中央、川内、大畑、脇野沢）

【重点項目】

- (1) 公民館の適正管理と運営の充実
- (2) 公民館事業の推進
- (3) 社会教育団体等の育成支援
- (4) 生涯学習関連施設等との連携促進
- (5) 視聴覚ライブラリーの充実

■ 重点項目の点検（平成29年度の具体的な取組状況） ■

(1) 公民館の適正管理と運営の充実

事業名		公民館運営審議会																	
概要	公民館運営審議会委員は、教育委員会が委嘱し、館長の諮問に応じて公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議するもので、委員の定数は15人以内で任期は2年である。																		
計画	○公民館の事業の計画・実施等について審議する。 ・人数:15人 ・任期:平成29年9月1日 ～平成31年8月31日	実績	○第176回むつ市公民館運営審議会 ・開催日:平成29年4月13日 ・開催場所:中央公民館 ・出席者:運営審議会委員 13人 事務局 9人 ○第177回むつ市公民館運営審議会 ・開催日:平成29年9月12日 ・開催場所:中央公民館 ・出席者:運営審議会委員 11人 事務局 10人																
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">予算総額</td> <td style="text-align: right;">374,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td style="text-align: right;">234,000 円</td> </tr> <tr> <td>費用弁償</td> <td style="text-align: right;">134,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">6,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	374,000 円	(内訳) 報酬	234,000 円	費用弁償	134,000 円	消耗品費	6,000 円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">決算総額</td> <td style="text-align: right;">273,616 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td style="text-align: right;">175,500 円</td> </tr> <tr> <td>費用弁償</td> <td style="text-align: right;">90,116 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">8,000 円</td> </tr> </table>	決算総額	273,616 円	(内訳) 報酬	175,500 円	費用弁償	90,116 円	消耗品費	8,000 円
予算総額	374,000 円																		
(内訳) 報酬	234,000 円																		
費用弁償	134,000 円																		
消耗品費	6,000 円																		
決算総額	273,616 円																		
(内訳) 報酬	175,500 円																		
費用弁償	90,116 円																		
消耗品費	8,000 円																		

事業名		地区館長会議の開催													
概要	地区公民館長の会議において、適正な地区公民館の運営についての協議を行うとともに、年間の事業計画及び報告等を行う。														
計画	○川内地区公民館長会議、大畑地区公民館長会議を開催し、年間の事業説明及び適正な地区公民館運営についての説明を行う。	実績	○川内地区公民館長会議 ・開催日:平成30年2月23日 ・開催場所:川内公民館 ・出席者:地区公民館長 7人 事務局 2人 ○大畑地区公民館長会議 ・開催日:平成29年5月24日 ・開催場所:大畑公民館 ・出席者:地区公民館長 5人 事務局 3人												
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">予算総額</td> <td style="text-align: right;">970,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td style="text-align: right;">840,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">130,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	970,000 円	(内訳) 報酬	840,000 円	旅費	130,000 円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">決算総額</td> <td style="text-align: right;">906,477 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td style="text-align: right;">840,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">66,477 円</td> </tr> </table>	決算総額	906,477 円	(内訳) 報酬	840,000 円	旅費	66,477 円
予算総額	970,000 円														
(内訳) 報酬	840,000 円														
旅費	130,000 円														
決算総額	906,477 円														
(内訳) 報酬	840,000 円														
旅費	66,477 円														

事業名		公民館施設・設備の整備																																	
概要	生涯学習の拠点施設である中央館（中央、川内、大畑、脇野沢）の適正な管理運営を行うとともに、市民が利用しやすい環境を提供する。 *中央館：むつ市公民館条例第2条別表 第1参照																																		
計画	○年間を通じて、市民が利用しやすい環境を提供するために、施設及び設備を適正に管理する。	実	○生涯学習の拠点として、多種多様な講座を開催するとともに、それが動機となって自主的な学習グループが育っており、活動拠点として積極的な利用がなされている。 ○各中央館の利用状況																																
				績																															
画面			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">中央</td> <td>回数</td> <td>1,532回</td> <td>1,536回</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>39,384人</td> <td>45,124人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">川内</td> <td>回数</td> <td>240回</td> <td>235回</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>3,806人</td> <td>3,669人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">大畑</td> <td>回数</td> <td>811回</td> <td>763回</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>10,492人</td> <td>10,509人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">脇野沢</td> <td>回数</td> <td>427回</td> <td>396回</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>5,324人</td> <td>3,592人</td> </tr> </tbody> </table>			平成29年度	平成28年度	中央	回数	1,532回	1,536回	人数	39,384人	45,124人	川内	回数	240回	235回	人数	3,806人	3,669人	大畑	回数	811回	763回	人数	10,492人	10,509人	脇野沢	回数	427回	396回	人数	5,324人	3,592人
		平成29年度	平成28年度																																
中央	回数	1,532回	1,536回																																
	人数	39,384人	45,124人																																
川内	回数	240回	235回																																
	人数	3,806人	3,669人																																
大畑	回数	811回	763回																																
	人数	10,492人	10,509人																																
脇野沢	回数	427回	396回																																
	人数	5,324人	3,592人																																
予算	予算総額 46,908,000 円 (内訳) 報酬 0 円 賃金 10,537,000 円 報償費 25,000 円 旅費 0 円 需用費(燃料費、電気料等) 11,075,000 円 役務費(通信運搬費等) 1,269,000 円 委託料 22,259,000 円 使用料 945,000 円 工事請負費 0 円 原材料 31,000 円 備品購入費 610,000 円 負担金・補助金及び交付金 0 円 公課費 157,000 円	決	決算総額 46,126,107 円 (内訳) 報酬 0 円 賃金 10,435,864 円 報償費 25,000 円 旅費 0 円 需用費(燃料費、電気料等) 11,551,617 円 役務費(通信運搬費等) 1,035,813 円 委託料 21,369,204 円 使用料 940,573 円 工事請負費 0 円 原材料 22,118 円 備品購入費 589,518 円 負担金・補助金及び交付金 0 円 公課費 156,400 円																																
				算																															

事業名		地区館の管理運営体制の確立	
概要	むつ市公民館条例第2条及び第3条で設置する公民館の地区館の管理運営を行う。		
計画	○年間を通じて、市民が利用しやすい環境を提供するために、施設及び設備を適正に管理する。	実	○各施設とも老朽化が進んでいるものの、地域住民による自主的管理が行われており、唯一の地域コミュニティの場として活用されている。 ○川内地区：14地区公民館 ・戸沢地区公民館修繕 ・桧川地区公民館修繕 ○大畑地区：7地区公民館
画面			

予 算	予算総額	2,634,000 円	決 算	決算総額	2,698,133 円
	(内訳) 報償費	0 円		(内訳) 報償費	0 円
	旅費	0 円		旅費	0 円
	需用費(電気料、燃料費、修繕費等)	2,020,000 円		需用費(電気料、燃料費、修繕費等)	2,263,190 円
	役務費(汲取手数料等)			役務費(汲取手数料等)	
		364,000 円			256,265 円
	委託料	220,000 円		委託料	149,040 円
	工事請負費	0 円		工事請負費	0 円
原材料費	30,000 円	原材料費	29,638 円		

【成果】○公民館運営審議会では、毎年、公民館運営及び各種事業について審議し、地域の声を聞き、活発な提言を行っている。各種事業においては審議した意見を踏まえ、改善・計画・実行することにより事業活動が円滑に進められている。

【課題】○地域コミュニティの集いや学習の場である地区公民館（川内地区・大畑地区）だが、施設の老朽化が進み、維持管理及び修理などの対応が必要となってきた。地域の方々が安心して活動できる環境を整えるためにも、今後とも計画的に改修や修繕を行っていく。

(2) 公民館事業の推進

事業名	市民大学及び各種講座開設事業																																																
概要	自然、芸術、社会、歴史、生活、健康など学習ニーズに対応した講座を開設し、地域の方々の教養の向上、健康の増進、情操の涵養に資することで、心豊かな地域社会を目指す。																																																
計 画	○公開講座 : 10回 (講演会形式で登録者以外でも受講できる。) ○ゼミナール : 22ゼミ (実技を伴う数回シリーズで行われる。) ・むつ地区 : 12ゼミ ・川内地区 : 1ゼミ ・大畑地区 : 4ゼミ ・脇野沢地区 : 5ゼミ	実 績	○公開講座及びゼミナールの開催状況																																														
			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公開講座</td> <td>11 回</td> <td>10 回</td> </tr> <tr> <td>聴講者数</td> <td>延667 人</td> <td>延622 人</td> </tr> <tr> <td>登録者数</td> <td>87 人</td> <td>94 人</td> </tr> <tr> <td>修了者数</td> <td>73 人</td> <td>71 人</td> </tr> <tr> <td>ゼミナール</td> <td>22 ゼミ</td> <td>24 ゼミ</td> </tr> <tr> <td>登録者数</td> <td>390 人</td> <td>414 人</td> </tr> </tbody> </table> ○ゼミナールの地区別開催状況内訳 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">むつ地区</td> <td>12 ゼミ</td> <td>12 ゼミ</td> </tr> <tr> <td>198 人</td> <td>188 人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">川内地区</td> <td>1 ゼミ</td> <td>1 ゼミ</td> </tr> <tr> <td>12 人</td> <td>11 人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">大畑地区</td> <td>4 ゼミ</td> <td>5 ゼミ</td> </tr> <tr> <td>77 人</td> <td>95 人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">脇野沢地区</td> <td>4 ゼミ</td> <td>6 ゼミ</td> </tr> <tr> <td>55 人</td> <td>120 人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計</td> <td>22 ゼミ</td> <td>24 ゼミ</td> </tr> <tr> <td>390 人</td> <td>414 人</td> </tr> </tbody> </table>		平成29年度	平成28年度	公開講座	11 回	10 回	聴講者数	延667 人	延622 人	登録者数	87 人	94 人	修了者数	73 人	71 人	ゼミナール	22 ゼミ	24 ゼミ	登録者数	390 人	414 人		平成29年度	平成28年度	むつ地区	12 ゼミ	12 ゼミ	198 人	188 人	川内地区	1 ゼミ	1 ゼミ	12 人	11 人	大畑地区	4 ゼミ	5 ゼミ	77 人	95 人	脇野沢地区	4 ゼミ	6 ゼミ	55 人	120 人	計	22 ゼミ
	平成29年度	平成28年度																																															
公開講座	11 回	10 回																																															
聴講者数	延667 人	延622 人																																															
登録者数	87 人	94 人																																															
修了者数	73 人	71 人																																															
ゼミナール	22 ゼミ	24 ゼミ																																															
登録者数	390 人	414 人																																															
	平成29年度	平成28年度																																															
むつ地区	12 ゼミ	12 ゼミ																																															
	198 人	188 人																																															
川内地区	1 ゼミ	1 ゼミ																																															
	12 人	11 人																																															
大畑地区	4 ゼミ	5 ゼミ																																															
	77 人	95 人																																															
脇野沢地区	4 ゼミ	6 ゼミ																																															
	55 人	120 人																																															
計	22 ゼミ	24 ゼミ																																															
	390 人	414 人																																															
予 算	予算総額 946,000 円 (内訳) 報償費 542,000 円 旅費 366,000 円 需用費 36,000 円 使用料及び賃借料 2,000 円	決 算	決算総額 830,062 円 (内訳) 報償費 501,000 円 旅費 283,495 円 需用費 43,167 円 使用料及び賃借料 2,400 円																																														

事業名		新田地域ふれあい学級開催	
概要	過疎地域における地域課題、生活課題への意識を高め、生活実践の学習活動をする。健康問題等への家庭教育を中心に学習する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○開催期間：平成29年4月～平成30年3月 ○開催回数：9回 ○開催地区：関根地区(新田町内会) ○開催場所：中央公民館新田分館 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ○平成29年4月11日 開級式 8人 ○5月23日 健康教室 9人 ○6月20日 ジオパーク(脇野沢鯛島) 10人 ○7月4日 健康教室 8人 ○8月29日 料理教室 11人 ○9月5日 施設見学 13人 ・竜飛岬 ・青函トンネル記念館 ○10月24日 施設見学 東北電力 岩谷沢発電所(川内溪流) 12人 ○12月5日 健康教室 9人 ○平成30年3月6日 閉級式 8人
	予算		決算
	予算総額 150,628 円 (内訳) 報償費 24,000 円 旅費 13,360 円 需用費 3,000 円 使用料及び賃借料 110,268 円		決算総額 96,316 円 (内訳) 報償費 0 円 旅費 0 円 需用費 0 円 使用料及び賃借料 96,316 円



新田ふれあい学級

事業名		婦人学級開催																															
概要	女性としての生き方を考え、より豊かな人間性を育み、地域課題、生活課題に向き合うため「自ら学ぶ」学習活動を展開する。																																
計画	<p>○むつ地区7学級</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学級毎に地域にあった年間事業計画を立て、それに沿って活動するほか、他の学級等との合同学習や女性団体の行事に参加し交流を深める。 	実績	<p>○むつ地区7学級（H28年度：6学級）</p> <p>○学級長会議及び合同学習</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年4月18日 6人 平成29年度の事業計画について 6月2日 20人 第1回合同学習会 イルカウォッチングと川内庁舎見学 7月19日 18人 八戸市石炭鉱山見学・八戸西健診プラザ見学 11月2日 29人 第2回合同学習会 「下北にでんきが灯って百年」講演会 平成30年2月16日 6人 学級運営について情報交換 <p>○郷土料理教室</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年10月11日 20人 とうもろこしご飯・紅白の鶏卵他 10月18日 36人 しらすとひじきの炊き込みご飯・長芋の海苔巻他 10月19日 28人 菜めし・寄せ豆腐・煮和え他 11月1日 28人 みそ貝焼き・なすのしそ巻他 <p>○むつ市女性団体連絡協議会の行事への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年11月1日 27人 市長と語る会 平成30年3月4日 23人 女性のつどい 																														
予算	<table> <tr> <td>予算総額</td> <td>148,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>84,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>45,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>17,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>2,000</td> <td>円</td> </tr> </table>	予算総額	148,000	円	(内訳) 報償費	84,000	円	旅費	45,000	円	需用費	17,000	円	使用料及び賃借料	2,000	円	決算	<table> <tr> <td>決算総額</td> <td>135,381</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>78,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>42,515</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>8,166</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>6,700</td> <td>円</td> </tr> </table>	決算総額	135,381	円	(内訳) 報償費	78,000	円	旅費	42,515	円	需用費	8,166	円	使用料及び賃借料	6,700	円
予算総額	148,000	円																															
(内訳) 報償費	84,000	円																															
旅費	45,000	円																															
需用費	17,000	円																															
使用料及び賃借料	2,000	円																															
決算総額	135,381	円																															
(内訳) 報償費	78,000	円																															
旅費	42,515	円																															
需用費	8,166	円																															
使用料及び賃借料	6,700	円																															

事業名		子ども向け各種講座開設																	
概要	公民館を身近に親しんでもらい、様々な活動を通じて仲間づくりを行い、児童の健全育成を推進する。																		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ①子ども講座 <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みや冬休みに小学生を対象に実施 ②子どもお楽しみ会 <ul style="list-style-type: none"> ・幼児から小学生までを対象に大型紙芝居やアニメ映画の上映会を実施 ③その他・教室・講習会等 <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり体験 ・ねぶた囃子講習会 ・子どもねぶた合同運行 ・子ども会冬季レクリエーション大会 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ①子ども講座(中央公民館) <ul style="list-style-type: none"> ○パソコン教室 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成29年11月25日 ・参加者：27人 ○親子で郷土料理教室 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成29年12月3日 ・参加者：26人 ○お菓子作り教室 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成29年12月16日 ・参加者：37人 ○ICT教室 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成30年3月27日 ・参加者：55人 ②子どもお楽しみ会(中央公民館) <ul style="list-style-type: none"> ○夏のお楽しみ会 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成29年7月9日 ・参加者：56人 ○冬のお楽しみ会 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成29年12月10日 ・参加者：70人 ③その他・教室・講習会等 <ul style="list-style-type: none"> ○ものづくり体験(川内公民館) <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成29年10月22日 ・参加者：107人 ○ねぶた囃子講習会(大畑公民館) <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成29年7月24日～7月26日 ・参加団体：8団体 ・参加者：延134人 ○子どもねぶた合同運行(大畑公民館) <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成29年8月6日 ・参加団体：8団体 ・参加者：約1,000人 ○子ども会冬季レクリエーション大会(下北自然の家) <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成30年1月14日 ・参加団体：3団体 ・参加者：23人 																
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">予算総額</td> <td style="text-align: right;">259,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td style="text-align: right;">161,000 円</td> </tr> <tr> <td> 旅費</td> <td style="text-align: right;">47,000 円</td> </tr> <tr> <td> 需用費</td> <td style="text-align: right;">51,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	259,000 円	(内訳) 報償費	161,000 円	旅費	47,000 円	需用費	51,000 円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">決算総額</td> <td style="text-align: right;">239,409 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td style="text-align: right;">99,000 円</td> </tr> <tr> <td> 旅費</td> <td style="text-align: right;">47,641 円</td> </tr> <tr> <td> 需用費</td> <td style="text-align: right;">92,768 円</td> </tr> </table>	決算総額	239,409 円	(内訳) 報償費	99,000 円	旅費	47,641 円	需用費	92,768 円
予算総額	259,000 円																		
(内訳) 報償費	161,000 円																		
旅費	47,000 円																		
需用費	51,000 円																		
決算総額	239,409 円																		
(内訳) 報償費	99,000 円																		
旅費	47,641 円																		
需用費	92,768 円																		

事業名	ジュニアリーダー研修会等各種事業参画																																																		
概要	むつ市少年教育指導委員規則に基づき少年教育指導委員を配置し、青少年の健全な成長を図るため、少年教育に関する諮問に応じるほか、教育機関等が実施する少年教育事業に参画し、少年団体活動の基礎的倫理と専門的な技術指導や助言を行い、子ども会などで実践的な活動が出来るジュニアリーダーの育成に努める。																																																		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○ジュニアリーダー研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・少年教育指導委員会議を開催し、ジュニアリーダー研修会のプログラムの立案及び研修での技術指導及び助言を行う。 ※「少年教育指導委員」 ・人数：12人 ・任期：平成29年7月1日～平成31年6月30日 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ○少年教育指導委員会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成29年6月29日 ・案件：研修会の開催要項及びプログラムについて ○ジュニアリーダー研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成29年7月1日～7月2日 ・場所：下北自然の家 ・参加者：36人 																																																
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">予算総額</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: right;">446,850</td> <td style="width: 15%; text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td></td> <td style="text-align: right;">208,000</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">132,950</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">88,100</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">8,800</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td></td> <td style="text-align: right;">9,000</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> </table>	予算総額		446,850	円	(内訳) 報酬		208,000	円	旅費		132,950	円	需用費		88,100	円	役務費		8,800	円	使用料及び賃借料		9,000	円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">決算総額</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: right;">269,054</td> <td style="width: 15%; text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td></td> <td style="text-align: right;">91,000</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">54,988</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">105,226</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">8,140</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td></td> <td style="text-align: right;">9,700</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> </table>	決算総額		269,054	円	(内訳) 報酬		91,000	円	旅費		54,988	円	需用費		105,226	円	役務費		8,140	円	使用料及び賃借料		9,700	円
予算総額		446,850	円																																																
(内訳) 報酬		208,000	円																																																
旅費		132,950	円																																																
需用費		88,100	円																																																
役務費		8,800	円																																																
使用料及び賃借料		9,000	円																																																
決算総額		269,054	円																																																
(内訳) 報酬		91,000	円																																																
旅費		54,988	円																																																
需用費		105,226	円																																																
役務費		8,140	円																																																
使用料及び賃借料		9,700	円																																																

事業名	子ども防災キャンプ																																		
概要	小学生（4～6年生）を対象に災害時の避難所での生活や防災について学び、非常食体験やロープワーク等をグループで実施することで災害に備える心構えと技術を養う。																																		
計画	○中央公民館で災害時の避難所生活を体験し、防災について学ぶ。	実績	<ul style="list-style-type: none"> ○開催日：平成29年9月23日～9月24日 ○場所：中央公民館 ○参加者：15人 																																
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">予算総額</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: right;">91,680</td> <td style="width: 15%; text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">12,000</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">6,680</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">73,000</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> </table>	予算総額		91,680	円	(内訳) 報償費		12,000	円	旅費		6,680	円	需用費		73,000	円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">決算総額</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: right;">34,936</td> <td style="width: 15%; text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">34,936</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> </table>	決算総額		34,936	円	(内訳) 報償費		0	円	旅費		0	円	需用費		34,936	円
予算総額		91,680	円																																
(内訳) 報償費		12,000	円																																
旅費		6,680	円																																
需用費		73,000	円																																
決算総額		34,936	円																																
(内訳) 報償費		0	円																																
旅費		0	円																																
需用費		34,936	円																																



子ども講座 ICT教育



ジュニアリーダー研修会



子ども防災キャンプ

事業名		分館長会議・分館地域づくり講座開催													
概要	市民が共に集い、学び合う場を提供し、活気あふれる地域社会づくりの推進を目的とする。														
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○分館長会議を年度当初に開催 ○分館地域づくり講座 (対象：16分館) 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ○中央公民館分館長会議 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成29年4月17日 ・開催場所：中央公民館 ・案件：①平成28年度公民館事業報告について ②平成29年度公民館事業計画について ③分館地域づくり講座の説明 ○分館地域づくり講座 (大曲分館) <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成29年10月29日 ・講座内容：竹とんぼづくり講座 ・参加者：38人 ・開催日：平成29年11月19日 ・講座内容：しめ縄づくり講座 ・参加者：14人 (宇曾利川分館) <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成29年12月10日 ・講座内容：としなづくり講座 ・参加者：7人 												
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">予算総額</td> <td style="text-align: right;">160,770 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td style="text-align: right;">104,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">56,770 円</td> </tr> </table>	予算総額	160,770 円	(内訳) 報酬	104,000 円	旅費	56,770 円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">決算総額</td> <td style="text-align: right;">139,647 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td style="text-align: right;">91,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">48,647 円</td> </tr> </table>	決算総額	139,647 円	(内訳) 報酬	91,000 円	旅費	48,647 円
予算総額	160,770 円														
(内訳) 報酬	104,000 円														
旅費	56,770 円														
決算総額	139,647 円														
(内訳) 報酬	91,000 円														
旅費	48,647 円														

- 【成果】**
- 市民大学については、各公開講座・各ゼミナールとも、アンケート結果及び市民の声をもとに市民大学運営委員会で協議を繰り返し企画立案しているため、市民が期待する生涯学習を実施することができた。
 - 婦人学級は新規に入会する学級生が少なくなり高齢化しているが、学習意欲が旺盛で自主的に学習計画を立てて運営しており、学級活動は活発に行われている。
 - 夏、冬の子どもお楽しみ会では、読み聞かせ、大型紙芝居や手遊びなどを通し、子ども達はその場で楽しむだけでなく、家庭内での親子間の絆作りの一助となっている。また、子ども向け各種講座については、子どもICT講座を開催し、昨今のネット社会における危険性、ネットモラルについての知識を学習する機会が提供できた。
 - ジュニアリーダー研修会については、定員を超える申込がある程の人気となっている。研修内容については、少年教育指導委員会議に諮り、助言を活かしながら計画することにより有意義な研修が実施された。
 - 子ども防災キャンプについては、災害時の避難所での生活や防災について学ぶことで子ども達の防災意識の高揚につながっている。

- 【課題】**
- 市民大学の公開講座において、市外から招く人気講座では講師講演料が高額となっており、県など関係機関事業とのタイアップなどの協力を仰いでいるが、招聘が困難になっている。
 - 婦人学級及びふれあい学級については、学級生が少なくなっているため、合同学習や枠組をこえた参加を促していく。

(3) 社会教育団体等の育成支援

事業名	各団体への指導・助言		
概要	社会教育指導員により、社会教育の特定分野について直接指導及び学習相談、並びに社会教育団体の育成を行う。また、少年教育については職員が行う。(特定分野とは婦人教育を指す。)		
計画	○中央公民館に配置した1人の社会教育指導員により婦人教育の直接指導及び学習相談等、並びに社会教育団体の育成を行う。	実績	<p>①むつ地区連合婦人会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○第42回むつ市婦人体育まつり <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成29年7月23日 ・場所：第二田名部小学校 ・参加団体：12団体、2福祉施設 <p>②むつ市連合婦人会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○第39回むつ市婦人芸能発表会 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成30年2月18日 ・場所：下北文化会館 ・参加団体：17団体、4福祉施設 <p>③下北連合婦人会事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成29年度総会及び研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成29年5月9日 ・場所：中央公民館 ・参加者：72人 ○幹部研修会 開催なし <p>④下北地区子ども会育成連合会事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ○第33回下北地区子ども会郷土芸能発表会 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成30年2月4日 ・場所：下北文化会館 ・参加団体：5団体、42人
予算	<p>予算総額 619,000 円</p> <p>(内訳) 負担金・補助金 及び交付金 619,000 円</p>	決算	<p>決算総額 618,570 円</p> <p>(内訳) 負担金・補助金 及び交付金 618,570 円</p>

事業名		公民館まっりの開催																																					
概要	各中央館（中央、川内、大畑、脇野沢）の利用団体等が製作した作品の展示や、日頃の活動の実演を交えて紹介する等の成果を発表する場を設け、各団体との交流と活動の更なる活性化を図るとともに、訪れた市民を通じて市全体の生涯学習の意識の高揚を図る。																																						
計画	<p>○公民館を利用しているサークル等が一堂に会し、日頃の活動を紹介・展示及び実技指導を行い、市民の生涯学習（文化活動）の活性化を図る。各中央館で開催する。</p>	実績	<p>○中央公民館</p> <p>・開催日：平成29年8月26日～8月27日</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加団体</td> <td>30団体</td> <td>31団体</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>1,623人</td> <td>1,439人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○川内公民館</p> <p>・開催日：平成29年10月22日</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加団体</td> <td>3団体</td> <td>3団体</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>336人</td> <td>302人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○大畑公民館</p> <p>・開催日：平成29年10月28日～10月29日</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加団体</td> <td>28団体</td> <td>19団体</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>857人</td> <td>550人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○脇野沢公民館</p> <p>・開催日：平成29年11月5日</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加団体</td> <td>6団体</td> <td>7団体</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>84人</td> <td>128人</td> </tr> </tbody> </table>		平成29年度	平成28年度	参加団体	30団体	31団体	来場者数	1,623人	1,439人		平成29年度	平成28年度	参加団体	3団体	3団体	来場者数	336人	302人		平成29年度	平成28年度	参加団体	28団体	19団体	来場者数	857人	550人		平成29年度	平成28年度	参加団体	6団体	7団体	来場者数	84人	128人
				平成29年度	平成28年度																																		
参加団体	30団体	31団体																																					
来場者数	1,623人	1,439人																																					
	平成29年度	平成28年度																																					
参加団体	3団体	3団体																																					
来場者数	336人	302人																																					
	平成29年度	平成28年度																																					
参加団体	28団体	19団体																																					
来場者数	857人	550人																																					
	平成29年度	平成28年度																																					
参加団体	6団体	7団体																																					
来場者数	84人	128人																																					
予算	<p>予算総額 378,900 円</p> <p>(内訳) 報償費 190,000 円</p> <p> 需用費 128,900 円</p> <p> 役務費 60,000 円</p>	決算	<p>決算総額 279,611 円</p> <p>(内訳) 報償費 156,000 円</p> <p> 需用費 78,361 円</p> <p> 役務費 45,250 円</p>																																				

事業名		市長と語る会、女性をつどい開催支援	
概要	<p>女性団体の育成支援と自主運営を指導し、事業協力する。</p> <p>※当該催しの主催者であるむつ市女性団体連絡協議会は29年度で解散したため30年度は中央公民館で主催する予定。</p>		
計画	<p>むつ市女性団体連絡協議会（主催者）</p> <p>○「市長と語る会」</p> <p>むつ市の現状や将来について語り合い、問題点や今後の方向性について市長と意見交換を行う。</p> <p>○「女性をつどい」</p> <p>市内の女性団体・グループが一堂に集い、お互いの理解を深めるための交流を持ち、それぞれの立場から女性の地位向上を目指しより豊かで住み良いまちづくりについて考える。</p>	実績	<p>○市長と語る会</p> <p>・開催日：平成29年11月1日</p> <p>・開催場所：中央公民館</p> <p>・参加者：21団体 77人</p> <p>○女性をつどい</p> <p>・開催日：平成30年3月4日</p> <p>・開催場所：中央公民館</p> <p>・参加者：17団体 140人</p>
			<p>予算額 0 円</p>

事業名	社会教育指導員配置事業		
概要	むつ市社会教育指導員に関する規則に基づき、社会教育の振興を図るため、社会教育特定分野についての直接指導及び学習相談、並びに社会教育団体の育成を行う目的で、社会教育指導員を配置する。（特定分野とは婦人教育を指す。）		
計画	○中央公民館に社会教育指導員を1人配置する。 (むつ市社会指導員に関する規則第4条により指導員の委嘱期間は1年とする。ただし、再任を妨げない。)	実績	○婦人教育担当：1人 ○任期：平成29年4月1日～平成30年3月31日 ○婦人学級や婦人会、女性団体連絡協議会の事業を指導・支援し、婦人教育の振興に効果的な役割を果たした。
予算	予算総額 1,692,000 円 (内訳) 報酬 1,556,000 円 旅費 136,000 円	決算	決算総額 1,627,424 円 (内訳) 報酬 1,555,200 円 旅費 72,224 円

【成果】○各地区で実施された公民館まつりは、公民館を拠点に活動している地域の団体・サークル等の活動の場や学習した成果の発表の場となっており、参加団体はもとより地域住民への生涯学習啓発に貢献している。

○社会教育指導員の指導助言を受け、婦人会や婦人学級の活動が活発となり、他地域との研修や交流を図りながら学習したことなどを基に、市政への意見を述べている。

【課題】○婦人学級については、新たに入会する人が少ない上に高齢化しており、学級の存続ができずに解散するところも出てきている。そのため今後の継続を視野に入れた育成支援をしていく必要がある。

○子ども会についても、少子化や児童・生徒の活動の多様化により、子ども会の会員数が減少している。また、それぞれの地区の子ども会活動を支援する育成者が減少しているため、育成者の養成等の対応策を検討していく必要がある。

(4) 生涯学習関連施設等との連携促進

事業名	下北美術展の開催		
概要	下北地域の芸術文化の振興を図るため、児童生徒及び高校・一般から書道、絵画、版画、写真を募集し、児童生徒の優秀作品、また、高校・一般の募集作品を展示及び表彰する。下北地方公民館連絡協議会（1市1町3村で構成）が実施する。		
計画	○児童・生徒の部 開催 (絵画、版画、書道) ○高校・一般の部 開催 (絵画、写真、書道)	実績	○児童、生徒の部 ・出品数：2,717点 ・入賞者数：709点 ・本展 期間：平成29年8月5日～8月20日 場所：中央公民館 ・移動展 期間：平成29年8月26日～8月31日 場所：津軽海峡文化館アルサス ○高校、一般の部 ・出品数：81点 ・入賞者数：35点 ・本展 期間：平成29年9月29日～10月9日 場所：中央公民館
予算	予算総額 494,000 円 (内訳) 報償費 113,000 円 需用費 361,000 円 役務費 20,000 円	決算	決算総額 488,845 円 (内訳) 報償費 107,000 円 需用費 353,245 円 役務費 28,600 円

事業名	市民大学一日体験入学		
概要	大学での講義・実技講習等の体験を通じ、キャンパスライフを肌身で感じることにより、学ぶ楽しさを実感してもらい生涯学習の一層の充実を図る。		
計画	○青森明の星短期大学一日体験入学	実績	○青森明の星短期大学一日体験入学 介護福祉コース 介護技術を学ぶ ・開催日：平成29年9月26日 ・参加者数：21人
予算	予算総額 111,000 円 (内訳) 自動車借上料 111,000 円	決算	決算総額 94,608 円 (内訳) 自動車借上料 94,608 円

事業名	子どもネブタ合同運行支援		
概要	夏休み期間中、創造力と自主性、協調性を養うとともに豊かなふるさとの行事を意識させ郷土愛を育てるために実施されている子どもネブタの運行委員会への支援、事業協力を行う。		
計画	○田名部地区の子どもネブタ運行委員会の支援・合同運行の事業協力を行う。	実績	○むつ市子どもネブタ運行委員会総会 ・開催日：平成29年6月6日 ○むつ市子どもネブタ合同運行 ・開催日：平成29年7月29日 ・参加台数：9台 (公民館では人的援助を行っている)
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円

事業名	かきぞめ大会の開催		
概要	子ども達が筆に親しみ、日本の伝統美に対する心を養うことを目的に、小・中学生を対象として新春かきぞめ大会を開催し、優秀作品の展覧会及び表彰式を行う。		
計画	①かきぞめ大会 (4地区で実施) ○むつ会場 (第三田名部小学校) ○川内会場 (川内公民館) ○大畑会場 (大畑公民館) ○脇野沢会場 (脇野沢地域交流センター) ②展覧会 ○中央公民館 ③表彰式 ○中央公民館	実績	①かきぞめ大会 ○むつ会場 ・開催日：平成30年1月6日 ・参加者：132人 (小学生100人、中学生32人) ○川内会場 ・開催日：平成30年1月5日 ・参加者：23人 (小学生21人、中学生2人) ○大畑会場 ・開催日：平成30年1月6日 ・参加者：9人 (小学生8人、中学生1人) ○脇野沢会場 ・実施せず ②展覧会 ・開催日：平成30年1月13日～1月21日 ・入場者：698人 ・展示数：110点 (特選：17点、準特選：32点、入選：61点) ③表彰式 ・期日：平成30年1月20日 ・出席者：45人

予 算	予算総額	130,590 円	決 算	決算総額	142,265 円
	(内訳) 報 償 費	59,000 円		(内訳) 報 償 費	68,000 円
	旅 費	15,590 円		旅 費	17,487 円
	需 用 費	56,000 円		需 用 費	56,778 円



かきぞめ大会

- 【成果】○下北美術展については、本展（中央公民館）の他、町村部においても移動展を開催することが定着してきており、下北地域全域における芸術文化の振興に寄与している。
○子どもネブタ合同運行支援については、総会等運営の会議に参加し助言をするとともに、運行にあたり、出発式の会場設営や運行先導車と緊急車両としての先導、公道の交通規制の案内立て看板の設置・撤去等を行い協力した。

- 【課題】○子どもネブタ合同運行については、運行の中心となる子どもの数が減少し、それに伴い地域の子どもの支援する大人も少なくなっている。そのため合同運行への参加台数も減少しており、今後のあり方について議論を深め方向性を見出していく必要がある。

（５）視聴覚ライブラリーの充実

事業名	視聴覚教材の充実と視聴覚教育の研究				
概要	視聴覚教材の多様化に対応し、整備する教材の研究を行う。				
計画	○中央公民館に、むつ市視聴覚ライブラリーを設置し、下北地方視聴覚教育協議会から委託を受けて視聴覚教育の教具及び教材を購入し、貸出を行うことで視聴覚教育の振興を図る。	実績	○学校、保育所（園）、社会教育団体等で活用できる視聴覚教材を購入するとともに、データブック（目録）の発行により利用促進を図った。		
予算	予算額	0 円	決算	決算額	0 円

事業名	視聴覚教材の購入				
概要	学校教育・社会教育に必要なDVD教材・教具の充実を図る。				
計画	○学校・保育所（園）・社会教育団体等が活用できるDVDの購入	実績	○視聴覚教材の購入 ・DVD（16本） ※幼児向けのアニメ、大自然もの、文芸もの		
予算	予算総額	300,000 円	決算	決算総額	291,643 円
	(内訳) 備品購入費	300,000 円		(内訳) 備品購入費	291,643 円

事業名		教材目録の発行、広報等によるPR強化	
概要		データブックの発行、広報等によるPR強化	
計画	○視聴覚教材の利用促進を図るため、教材目録を作成し広報活動に努める。	実績	○管内の公民館、学校、保育所（園）、社会教育団体等で活用できるデータブックを配布し利用促進を図った。 ・データブック配布 100部 ※新規DVDや寄付を受けた教材リストを掲載
予算	予算総額 27,000 円 (内訳) 需用費 27,000 円	決算	決算総額 16,243 円 (内訳) 需用費 16,243 円

事業名		連絡調整会議の開催	
概要		中央公民館にむつ市視聴覚ライブラリーを設置し、下北地方視聴覚教育協議会からの委託を受け、多様化する視聴覚教材の整備・選定等についての協議を図り、視聴覚教育の振興を図る。	
計画	○下北地方視聴覚教育協議会会議の開催及び関連会議への参加	実績	○下北地方視聴覚教育協議会総会 平成29年5月10日 ○下北地方視聴覚教育協議会会議 平成29年12月14日 ※青森県視聴覚ライブラリー連絡協議会は平成28年度末で解散のため会議なし
予算	予算総額 5,000 円 (内訳) 旅費 5,000 円	決算	決算総額 0 円 (内訳) 旅費 0 円

- 【成果】○学校、保育所（園）で活用できるアニメ等の教材とともに、全世代が親しめる大自然のもの、また伝統の文芸ものの教材を購入した。
○各公民館や学校・保育所（園）・社会教育団体等で活用できるデータブックを配布し利用促進を図った。

- 【課題】○視聴覚教材が16ミリフィルム、ビデオテープ、DVDと移り変わってくるとともに機材、映像ソフトとも家庭、個人への普及がめざましく、貸出数の著しい減少につながっているものと考えられる。
○このような現状からは、視聴覚ライブラリーの必要性、今後のあり方を改めて検討すべきと思われる。

5 図書館

【重点項目】

- (1) 図書館施設の適正管理
- (2) 図書館サービス活動の充実
- (3) 利用者ニーズに即した資料整備
- (4) 子どもの読書活動の推進

■ 重点項目の点検（平成29年度の具体的な取組状況） ■

(1) 図書館施設の適正管理

事業名	図書館施設・設備の保守管理業務委託		
概要	地域の交流の場である図書館(本館、川内・大畑・脇野沢の各分館)の適正な整備と維持管理を行い、利用者に快適な活動空間の提供を目指す。		
計画	○年間を通じて、施設・設備の適切な整備及び維持管理を行う。	実績	○各種整備、維持管理を行うことで、施設の安全性と利用者に対する快適性が保たれた。 <ul style="list-style-type: none"> ・環境衛生管理業務委託 ・空気調和設備保守点検業務委託 ・植栽管理業務委託 ・自家用電気工作物保守点検業務委託 ・消防用設備保守点検業務委託 ・給排水設備保守点検業務委託 ・警備業務委託 ・視聴覚機器保守管理業務委託 ・自動扉保守点検業務委託 ・除排雪業務委託
予算	予算総額 17,202,000 円 (内訳) 委託料 17,202,000 円	決算	決算総額 16,513,902 円 (内訳) 委託料 16,513,902 円

事業名	図書館施設・設備の改修及び修繕		
概要	施設・設備の改修及び修繕箇所がないか点検し利用者の安全と安心を確保する。可能な限り図書館職員で修繕等を行う。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○移動図書館車夏タイヤ交換 ○天井点検委託 ○特殊建築物定期報告調査委託 ○ブックキーパー(感震式書籍落下防止装置)の設置 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ○移動図書館車夏タイヤ交換 ○天井点検委託 ○特殊建築物定期報告調査委託 ○ブックキーパー(感震式書籍落下防止)の設置(30箇所) ○アクリルドームトップライト交換 ○玄関常夜灯取替 ○除雪機エンジンに係る点検 ○トイレ照明スイッチ修繕 ○B P S (貸出手続き確認装置)修繕 ○空調関連機器修繕 (冷温水機基盤交換工事)

予 算	予算総額	1,496,000 円	決 算	決算総額	2,441,345 円
	(内訳) 消耗品費	111,000 円		(内訳) 消耗品費	105,737 円
	手数料	28,000 円		手数料	10,368 円
	修繕料	203,000 円		修繕料	845,856 円
	委託料	925,000 円		委託料	820,800 円
	工事請負費	0 円		工事請負費	442,800 円
	備品購入費	229,000 円		備品購入費	215,784 円

【成果】○3年に1度行う特殊建築物定期報告調査において、特に懸念される事項はなかった。
○BPS（貸出手続き確認装置）、空調関連機器（冷温水機制御基盤内部品）が故障したが、速やかに対応し修繕したことで、利用者には大きな支障をきたすような状況にはならなかった。

【課題】○地域の交流の場となる図書館だが、近年、老朽化に伴う修繕等の必要な部分として、天窓に生じたひび割れのためのトップライト交換、部分的に稼働不可の空調関連機器修繕等が増加しているため、優先度を見極め順次改善していく必要がある。
○開館当時から照度が不十分な場所があるため、LED化等の大規模な改修も必要。
○利用者の対象がむつ市内に限らず、下北全域に及ぶ図書館において、休日等は「臨時駐車場」として近隣企業の駐車スペースを確保しているが有効に利用されていないため、周知方法を改善する必要がある。

(2) 図書館サービス活動の充実

事業名	図書館協議会の開催		
概要	図書館協議会は、図書館法第14条の規定により、図書館の運営に関し、館長の諮問に応じるとともに、図書館の行うサービスについて館長に意見を述べる。		
計画	○図書館協議会を開催する。 ・委員定数：10人以内 ・任期：2年	実績	○図書館協議会委員：10人（任期） ・平成29年5月1日～平成31年4月30日 ○協議会の開催 ・第1回：平成29年7月7日 9人出席 ・第2回：平成30年2月14日 6人出席
予算	予算総額 309,000 円 (内訳) 報酬 195,000 円 費用弁償 114,000 円	決算	決算総額 134,612 円 (内訳) 報酬 78,000 円 費用弁償 56,612 円

事業名	図書館システムによるサービスの拡充		
概要	インターネットを活用したクラウド方式のSaaS型(Software as a Service) 図書館システムを効果的に導入して効率的に運営する。		
計画	○クラウド型を導入することにより、サーバー管理等の費用及び負担の軽減を図る。	実績	○利用者数：47,238人 ○利用冊数：156,098冊
予算	予算総額 2,722,000 円 (内訳) 委託料 648,000 円 使用料 2,074,000 円	決算	決算総額 2,667,168 円 (内訳) 委託料 593,568 円 使用料 2,073,600 円

※SaaS型とは、インターネット経由でサーバーやソフトウェアを利用するコンピュータの活用方法で、サーバー管理やセキュリティ対策などのシステム運用の負担が軽減される。

事業名	図書館奉仕員の配置によるレファレンス活動の充実		
概要	図書館奉仕員は利用者への窓口サービスの大部分を担っている。その中でもレファレンス(調査相談業務)は図書館業務の中でも最も重要な業務であり、奉仕員の知識・経験を活かすためにも継続的な配置が必要となる。		
計画	○図書館奉仕員を12人配置する。	実績	○配置人数 : 12人 ○委嘱期間 : 平成29年4月1日 ~平成30年3月31日 ○レファレンス件数 : 226件
予算	予算総額 19,566,000 円 (内訳) 報酬 18,663,000 円 費用弁償 903,000 円	決算	決算総額 19,409,282 円 (内訳) 報酬 18,662,400 円 費用弁償 746,882 円 ※決算総額の全額19,409,282円は、国・県補助額

事業名	本館と分館の連携によるリクエストの拡充		
概要	蔵書数の少ない分館の利用者へ本館と同様に図書館サービスが受けられるようリクエストサービスを受け付ける。		
計画	○分館職員と連携を回りリクエストに対し、購入や他館からの借用で対応する。	実績	○リクエスト受付数 ・大畑分館 : 39件 ・脇野沢分館 : 13件
予算	予算総額 0 円	決算	決算総額 0 円

事業名	移動図書館車の運行业務委託		
概要	本館から離れた遠隔地に居住する市民へ移動図書館車を運行し、図書館資料の利用拡大を図る。		
計画	○小・中学校、幼稚園、保育所、公民館、集会所等20ステーションに5月から12月まで毎週火~金曜日、年間105日運行を行う。	実績	○運行期間 ・平成29年5月9日~11月30日 (103日運行) ○利用人数 : 2,669人 ○貸出冊数 : 8,579冊
予算	予算総額 818,000 円 (内訳) 委託料 818,000 円	決算	決算総額 815,400 円 (内訳) 委託料 815,400 円



移動図書館車

事業名		相互貸借ネットワーク事業																	
概要	むつ市立図書館で所蔵のない資料を全国の図書館から借用して利用者へ貸出することで利用者のニーズに応える。																		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○利用者のリクエストに応じ、県内外の図書館の所蔵を調査し、借用依頼する。 ○他の図書館からの借用依頼にも対応する。 ○貴重な資料の閲覧が可能な国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの提供を行う。 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ○相互貸借件数 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">借受数</td> <td>553点</td> <td>473点</td> </tr> <tr> <td>(県内:483点)</td> <td>(県内:440点)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">貸出数</td> <td>220点</td> <td>107点</td> </tr> <tr> <td>(県内: 85点)</td> <td>(県内: 87点)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(県外: 135点)</td> <td>(県外: 20点)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○国立国会図書館デジタル化資料送信サービス ・利用者数 : 延べ10人 		平成29年度	平成28年度	借受数	553点	473点	(県内:483点)	(県内:440点)	貸出数	220点	107点	(県内: 85点)	(県内: 87点)		(県外: 135点)	(県外: 20点)
				平成29年度	平成28年度														
借受数	553点	473点																	
	(県内:483点)	(県内:440点)																	
貸出数	220点	107点																	
	(県内: 85点)	(県内: 87点)																	
	(県外: 135点)	(県外: 20点)																	
予算	予算総額 140,000 円 (内訳) 手数料 140,000 円	決算	決算総額 77,854 円 (内訳) 手数料 77,854 円																

事業名		障がいを持つ人へのサービス	
概要	視覚、聴覚等の障がいを持つ利用者への図書館サービスの提供を行う。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○大活字本や朗読CD等を十分に備えサービスの充実を図る。 	決算	<ul style="list-style-type: none"> ○LLブック購入 : 8冊 ○大活字本購入 : 78冊 ○朗読CD購入 : 33点
予算	予算総額 230,000 円 (内訳) 備品購入費 230,000 円	決算	決算総額 305,856 円 (内訳) 備品購入費 305,856 円

事業名		むつ市詩歌コンクール	
概要	むつ市在住の児童・生徒・一般の方々を対象に、詩・短歌・俳句・川柳の4部門において創作に対する関心を高め、読書と創作の接点を設けることを目的に実施する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○夏休み前に学校を通して、子どもたちに向けてポスター等で周知を図り、夏期に募集し年度内に表彰式、作品展示、文集作成を実施する。 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ○募集期間 <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年8月1日～9月10日 ○表彰式 <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年11月26日 ○作品展示 <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年11月24日～12月7日 ○応募作品数 : 3,784点 ○応募者数 : 2,257人 ○入賞者 : 305人
			予算総額 220,753 円 (内訳) 報償費 172,000 円 消耗品費 48,753 円

事業名	映画監督川島雄三生誕100周年記念事業		
概要	むつ市出身の映画監督川島雄三が、平成30年2月4日をもって、生誕100年を迎えるにあたり、その功績を全国にプロモーションする。また、その存在、功績などを若い世代の方々を含め、広く地域住民に再認識してもらうための記念事業を実施し、周知する。		
計画	○図書館内施設あすなろホールにて川島雄三監督映画上映会を開催し、生誕100年を迎えてシンポジウム等を開催する。	実績	○平成29年6月11日 ・川島雄三映画上映会 ・参加人数：38人 ○平成29年10月12日 ・川島雄三シンポジウム(パネルディスカッション、映画上映) ・参加人数：45人 ○平成30年2月4日 ・川島雄三映画上映会(ミニ座談会開催) ・参加人数：65人
予算	予算総額 366,000 円 (内訳) 使用料 166,000 円 備品購入費 200,000 円	決算	決算総額 361,736 円 (内訳) 使用料 162,800 円 備品購入費 198,936 円



川島雄三シンポジウム



川島雄三生誕100年映画上映会

事業名	各種事業の開催(実技体験型)		
概要	図書館に親んでもらうことで、読書意欲の向上と来館者の増加を目指し、各種事業を開催する。		
計画	○図書館奉仕員を講師とした一般向けのブックコート講習会や本の修理講習会、工作教室を実施し、図書館に親んでもらう。	実績	○ブックコート&修理講習会(3回) ・平成29年5月18日 参加者：7人 ・平成29年6月8日 参加者：4人 ・平成29年9月15日 参加者：8人 ○大人の工作教室 ・アコーディオンアルバム作り 平成30年3月1日 参加者：6人
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円



ブックコート講習会の様子



アコーディオンアルバム

※ブックコート：本の表面に透明プラスチックフィルムを貼り、本を保護。

※アコーディオンアルバム：糸で綴じない蛇腹状のアルバム。

事業名		主催事業の充実（上演視聴）	
概要	図書館に親んでもらうことで、読書意欲の向上と来館者の増加を目指し、各種事業を開催する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○図書館展示ホールやあすなるホールを使用し、気軽に楽しめるコンサートを開催したり、図書館所蔵AV資料を使用し、児童及び一般向け映画の上映会を開催する。 ○大人向け絵本の読み聞かせを行う。 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ○日曜シネマ <ul style="list-style-type: none"> ・月2回 12作品 26回上映 <li style="text-align: right;">参加者：延べ396人 ○図書館ギャラリーコンサート <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年 8月26日 参加者：60人 ・平成29年12月 9日 参加者：62人 ・平成30年 3月17日 参加者：42人 ○大人の英語絵本読書会 <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年 2月15日 参加者：5人
予算	予算総額 64,800 円 (内訳) 映像資料上映許諾使用料 64,800 円	決算	決算総額 64,800 円 (内訳) 映像資料上映許諾使用料 64,800 円



ギャラリーコンサート

事業名	主催事業の充実（読書関連）		
概要	図書館に親しんでもらうことで、読書意欲の向上と来館者の増加を目指し、各事業を開催する。		
計画	<p>○雑誌や図書の無料配布を主体としたブックフェスティバルや毎月テーマを替えて展示する図書の特別展示、貸出回数によってポイントがたまるスタンプラリー等を開催する。</p>	実績	<p>○特別展示（一般向け） 37回 ○夏休みジオパークスタンプラリー ・平成29年7月22日～8月31日 ・参加者：436人（カード配布数） ○ぬいぐるみお泊まり会 申込者：27人 ・平成29年10月19日～10月21日 ○ブックフェスティバル ・平成29年10月28日～10月29日 ・雑誌等無料配布 参加者：180人 ・コラージュ川柳 参加者：36人 ・ぬいぐるみお泊まり会写真展示 ○読書週間スタンプラリー ・平成29年10月30日～12月3日 ・参加者：668人（カード配布数） ○フライング福袋 ・平成29年12月20日～12月27日 ・貸出数（大人：44袋、小人：36袋） ○図書館おみくじ ・平成30年1月4日～1月10日 ・参加者：延べ449人 ○図書・雑誌付録抽選会 ・平成30年1月25日～2月21日 ・参加者：476人</p>
予算	予算額	0 円	決算 決算額 0 円

※コラージュ川柳：新聞から5文字7文字のみを切り抜いて台紙に張り付けて作る川柳のこと。

※フライング福袋：年末に同じジャンルの本を中身が分からないように袋の中に入れて貸出をすること。



フライング福袋

事業名	集会、講習、展示等への施設提供		
概要	市民の身近な学習・社会教育施設として、社会教育活動及び生涯学習の推進及び支援をする。		
計画	<p>○市民の社会教育及び生涯学習の活動場所を提供するため集会施設の貸出を行う。</p>	実績	<p>○集会施設の利用状況 ・集会室 : 174回 1,524人 ・会議室 : 196回 1,395人 ・視聴覚ホール : 25回 781人 ・展示ホール : 19回</p>
予算	予算額	0 円	決算 決算額 0 円

- 【成果】**○監督川島雄三生誕100周年記念事業は、映画上映会に併せて、シンポジウムやミニ座談会、ポスター展示も併せて開催したことにより参集人員も増え、川島雄三の存在、功績そして「生誕100年」という認識がわずかずつではあるが浸透したものとらえている。
- むつ詩歌コンクールは例年小学生から一般まで幅広い参加があり、社会教育の増進にも寄与した。
- 図書館主催事業に関して、経費をかけない事業が多く、参加者より好評を得ている。
- 特にスタンプラリー、日曜シネマ及び図書館おみくじ等の事業は参加者も増加し、地域施設としての社会貢献度も高まっている。
- 【課題】**○普段、図書館を利用しない市民に対して、興味を持ってもらうための取組を行っているが、一層の振興のために広報の方法を見直すことを検討する必要がある。
- 障がいを持つ・持たないに関係なく、誰でも気軽に利用することができるようサービスの拡充を図っていくことが必要である。

(3) 利用者ニーズに即した資料整備

事業名		図書資料の購入																																									
概要	最新情報の把握と利用者のリクエストによる新刊図書の購入や基本的な図書の更新、話題性のある図書の購入、AV資料の更新・購入を図り利用者のニーズに応えていく。																																										
計画	○小説、思想・哲学、歴史、社会科学（教育、経済等）、自然科学（動物、医療）、技術（料理、工学）産業、芸術の全ての分野を網羅した選書を行い、年鑑、白書、統計等、年度更新が必要な資料について、利用者のニーズに応じた購入を定期的に行う。	実績	○購入数	<ul style="list-style-type: none"> ・一般 : 1,862冊 ・児童 : 524冊 ・郷土 : 41冊 ・AV資料 : 87点 																																							
	○利用状況		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">平成29年度</th> <th colspan="2">平成28年度</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>貸出数</th> <th>人数</th> <th>貸出数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本館</td> <td>43,931</td> <td>145,951</td> <td>48,334</td> <td>157,630</td> </tr> <tr> <td>移動</td> <td>2,674</td> <td>8,595</td> <td>2,542</td> <td>8,573</td> </tr> <tr> <td>川内</td> <td>62</td> <td>173</td> <td>53</td> <td>214</td> </tr> <tr> <td>大畑</td> <td>378</td> <td>1,027</td> <td>453</td> <td>1,274</td> </tr> <tr> <td>脇野沢</td> <td>193</td> <td>352</td> <td>166</td> <td>391</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>47,238</td> <td>156,098</td> <td>51,548</td> <td>168,082</td> </tr> </tbody> </table>					平成29年度		平成28年度		人数	貸出数	人数	貸出数	本館	43,931	145,951	48,334	157,630	移動	2,674	8,595	2,542	8,573	川内	62	173	53	214	大畑	378	1,027	453	1,274	脇野沢	193	352	166	391	合計	47,238	156,098
	平成29年度		平成28年度																																								
	人数	貸出数	人数	貸出数																																							
本館	43,931	145,951	48,334	157,630																																							
移動	2,674	8,595	2,542	8,573																																							
川内	62	173	53	214																																							
大畑	378	1,027	453	1,274																																							
脇野沢	193	352	166	391																																							
合計	47,238	156,098	51,548	168,082																																							
予算	予算総額 4,800,000 円 (内訳) 図書購入費 4,800,000 円	決算	決算総額 4,793,611 円 (内訳) 図書購入費 4,793,611 円																																								

事業名	郷土資料及び古文書の収集と情報の提供		
概要	郷土資料(郷土出身者、むつ市にゆかりのある人物を含む)を収集し、地域情報の集積機関として役割を果たす。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○新規刊行される、むつ・下北関係資料については、可能な限り収集する。 ○収蔵していないものや絶版となっている資料についても古書店の情報や寄贈図書を受け入れるなど、可能な限り対応する。 ○市や県が発行する行政資料の収集に努める。 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ○出版社や地元書店等から情報提供を受けながら資料を収集した。 <ul style="list-style-type: none"> ・購入： 41冊 ・寄贈： 257冊
予算	予算総額 200,000 円 (内訳) 図書購入費 200,000 円	決算	決算総額 255,782 円 (内訳) 図書購入費 255,782 円

※予算総額・決算総額については、事業名「図書資料の購入」の再掲額。

【成果】○多様化する利用者の図書のニーズに対して、分館又は県内外の図書館と連携を図ることで概ね対応することができた。

【課題】○一般図書に限らず、郷土資料、障がい者図書、映像資料等幅広い分野の網羅を目指しているが、場合によっては高額品の購入を検討する必要があり、予算内での対応が難しい。

(4) 子どもの読書活動の推進

事業名	児童図書の購入		
概要	児童図書の充実により、児童の図書利用の促進を図り、将来的な図書利用者の拡大につなげていく。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○図書購入予算の中で絵本、物語等、分野ごとに選定して購入する。 	実績	<ul style="list-style-type: none"> ○児童図書購入冊数：524冊 (絵本:199冊 物語ほか:325冊)
予算	予算総額 710,000 円 (内訳) 図書購入費 710,000 円	決算	決算総額 784,113 円 (内訳) 図書購入費 784,113 円

※予算総額・決算総額については、事業名「図書資料の購入」の再掲額。

事業名	子育て・子ども向け事業の開催			
概要	あるテーマに沿った図書や季節に関連した図書の展示をして子どもたちの読書活動の意欲を高める。 図書館見学や映画上映会、工作教室を企画し、図書館に親しむ機会をつくり、読書推進へつなげる。			
計画	①児童の特別展示・季節の展示 ②子ども見学ツアー ③「夏休み子ども映画劇場」 ④「冬休み子ども映画劇場」 ⑤夏休み工作教室 ⑥冬休み親子工作教室 ⑦10ヶ月健診への協力・3歳児健診への協力	実績	①特別展示:22回・季節の展示:21回 ②子ども見学ツアー ・平成29年5月5日 : 7人 ③「夏休み子ども映画劇場」 ・平成29年8月5日 :19人 ・平成29年8月6日 :22人 ④「冬休み子ども映画劇場」 ・平成29年12月25日 : 5人 ・平成29年12月26日 : 2人 ⑤ブリエット(窓飾り) 平成29年8月10日 :15人 ⑥折り紙で作る「お祝い袋」と「はし袋」平成30年1月11日 :15人 ⑦10ヵ月検診時に乳児の図書館カード作成:21人 3歳児健診時に絵本の閲覧	
予算	予算額	0 円	決算 決算額	0 円

事業名	おはなし会等の開催			
概要	子ども向けの読み聞かせや紙芝居の上演を行うおはなし会を毎週開催し、季節ごとに大規模なおはなし会を開催して子どもたちの読書推進を図る。			
計画	①毎週土曜日「おはなし会」 ②季節の「おはなし会」 ・はるのひのおはなし会 ・あきのひのおはなし会 ・ふゆのひのおはなし会 ③「こわいおはなし会」 ④英語のおはなし会	実績	①午後2時～2時30分 48回：延べ295人 ②季節の「おはなし会」 ・平成29年 5月20日 : 17人 ・平成29年10月14日 : 20人 ・平成29年12月16日 : 32人 ③「こわいおはなし会」 ・平成29年 8月 3日 : 58人 ④英語のおはなし会 ・平成29年 7月15日 :10人 ・平成29年11月16日 :80人 (第二田名部小学校) ・平成29年12月 9日 :14人	
予算	予算額	0 円	決算 決算額	0 円

事業名	学校への支援・協力		
概要	学校図書館運営の助言及び支援業務を行う。		
計画	○学校図書館運営の相談を希望する学校に対し、助言及び支援を行う。	実績	○第三田名部小学校（図書室の整理） ・平成29年9月20日～9月22日 ○大平小学校（図書室の整理） ・平成29年8月4日、8月8日～9日
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円

事業名	学校からの見学・職場体験の受け入れ		
概要	市内及び郡内の小・中・高校及び幼稚園から図書館見学・職場体験学習を受け入れる。		
計画	○各学校と連絡調整し受け入れる。	実績	○施設見学 317人 ・幼稚園 (1園) : 20人 ・小学校 (8校) : 294人 ・養護学校 (1校) : 3人 ○職場体験 8人 ・中学校 (2校) : 5人 ・高校 (1校) : 3人
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円

事業名	県立図書館の協力図書貸出事業		
概要	県立図書館が所蔵する「協力図書」及びジャンルを限定した「巡回図書セット」を活用し、学校図書館の充実に協力する。		
計画	○協力図書 希望校に各500冊 ○巡回図書セット貸出 低・中・高学年各1セット当たり20冊（前期・後期）	実績	○協力図書 : 4校 1,972冊 ○巡回図書セット : 1校 6セット
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円

- 【成果】**
- 子育て・子ども向け事業は奉仕員が主体となり、子どもたちが興味を持つテーマに沿った図書の展示にあわせて様々なアイデアや工夫を凝らした内容となっており、子どもたちの読書意欲の増進に貢献している。
 - 英語の読み聞かせは子どもたちが自然と英語に触れる機会をつくりだしており、子どもの英語教育に貢献している。
 - 学校図書室への支援は学校との協力体制を図ることで、より良い読書環境を子どもたちに提供することができた。
 - 学校の図書館見学、職場体験学習は、子どもたちの知的好奇心を引き出し、図書館の効果的な活用にもつながっている。
- 【課題】**
- 学校図書室への支援は、図書館と学校図書室との連携が図られる一方、支援業務に携わる職員及び奉仕員の人数にも限りがあるため、図書館運営に支障をきたすことがないよう支援態勢を整えていく必要がある。
 - 図書館見学、職場体験は希望が集中し、日程の調整が必要な場合があることから、図書館側の受け入れ態勢を整えていく必要がある。
 - 県立図書館の協力図書貸出事業については、子どもたちの読書の幅を広げることができることから、各学校に積極的な活用を促す必要がある。

◇点検・評価対象一覧

	重点項目	重点項目の内容	具体的な事業	頁
1	1 安全・安心な教育環境の整備	学校統合による通学手段の確保 学校改築等施設・設備の整備 学校教材等の充実	スクールバス運行管理事業	6
			新入学児童用防犯ブザー購入事業	7
			校務用パソコン等更新事業	7
			開根中学校建設事業	8
			ICTを活用した特別支援教育研究事業	8
	その他小中学校の施設・設備の整備事業	9		
	2 教職員の適正・適切な配置	学校現場の実情的確な把握 異動方針及び要項等の適正な運用	県費負担職員の任免、服務、その他の人事管理	10
	3 通学区域制度の適切な運用及び再編	通学区域制度の運用の適切なあり方に係る 調査研究・検討	むつ市通学区域審議会の設置	10
	4 学校規模の適正化に係る研究・検討	通学区域の再編に係る調査研究・検討 複式学級の解消、その他の学校規模の適正化に係る 調査研究・検討	学校規模適正化のための地域説明会等の開催	11
	5 就学困難な児童生徒等に係る就学援助	就学困難な児童生徒に係る就学援助事業の推進 特別支援教育就学奨励事業の推進	要保護児童生徒援助事業 準要保護児童生徒援助事業 医療的ケア児童生徒就学支援事業 特別支援教育就学奨励事業	11 12 12 12
6 学校評議員制度の充実	学校評議員制度の適切な運用	学校評議員の設置	13	
7 幼稚園への就園奨励	幼稚園就園奨励事業の推進	私立幼稚園就学奨励費補助事業	13	
8 奨学金制度の充実	奨学金制度に係る住民への啓発 奨学金事業の推進 奨学金制度の充実化に係る調査研究・検討	奨学金貸付事業 医学部修学助成事業	14	
9 学校保健の充実	学校保健及び関係団体と相互協力を図る 学校保健事業に係る学校施設整備の安全点検 ・安全管理の徹底	健康診断委託事業 学校医委託事業 学校災害共済給付事業 学校保健会補助事業 学校災害入院補償事業	15 15 16 16 16	
10 学校給食の充実	学校給食施設の充実 学校給食衛生管理の徹底 児童・生徒の食生活の改善と体位向上	学校給食管理事業 学校給食設備整備事業	18	
2	1 生涯学習の推進	生涯学習・社会教育諸計画の立案・調査・研究 社会教育事業に関する相談・指導体制の充実 各種講演・講習会等の開催及び支援 生涯学習関連団体との連携強化	社会教育委員の設置	19
			社会教育指導員による学習支援	19
			弘前大学生涯学習講演会の開催	20
			成人式の開催	20
			あおり県民カレッジ情報の提供	20
	放送大学むつ校の情報提供、利用充実に向けた講演会の 支援	21		
	自然観察会の開催	21		
	2 学校・家庭・地域の連携による教育活動の推進	家庭教育推進の支援 学校と地域協働による教育活動の推進	放課後子ども教室推進事業	22
	3 社会教育施設の機能充実	むつ市海と森ふれあい体験館の管理・運営 むつ市下北自然の家の管理・運営	むつ市海と森ふれあい体験館の管理・運営 むつ市下北自然の家の管理・運営	23 24
	4 芸術・文化活動の奨励と振興	芸術鑑賞機会の提供 文化活動の推進と関連団体の育成	むつ市文化賞・文化奨励賞受賞者作品展示 東京藝術大学出身演奏家による芸術鑑賞教室 むつ市文化団体等支援事業	25 25 26
5 郷土の文化遺産の保護・保存と活用	文化財の保存と活用 文化財の調査・研究 天然記念物の保護	文化財保護審議会の設置 「北の防人大湊 式番館」の管理・運営 民俗芸能の保存と伝承活動の支援 文化財収蔵庫の管理・運営 自然調査事業 文化財保護関連事業、天然記念物保護関連事業 重要文化財保存修理事業	27 28 28 29 29 30 31	
3	1 小中一貫教育の充実	小中一貫教育ブロック研究の推進 9年間の教育課程の研究推進 小中一貫教育非常勤講師の配置と活用	小中一貫教育推進研究事業	33
			むつ市小中一貫教育推進委員会事業	33
			小中一貫教育非常勤講師配置事業	34
	2 質の高い教育課程の創造	指導の方針と重点の周知徹底 幼保小連携	むつ市学校教育指導の方針と重点に関する指導・支援事業 スタートカリキュラムモデルプラン作成事業	34 35
	3 学力向上対策の充実	学力調査・知能検査の実施 教員の指導力向上 思考力・判断力・表現力の向上	学力調査・知能検査実施事業	35
			S Y E Nに関する研修会	36
「活用型問題集」作成			36	
デジタル教科書購入事業	36			
新聞を活用した学習への支援事業	37			

	重点項目	重点項目の内容	具体的な事業	頁
3	4 生徒指導の充実と関係機関との連携強化	学校環境適応感尺度「アセス」の実施 むつ市いじめ防止基本方針に基づく対策の点検及び評価 いじめ防止に向けた行動宣言 子どもの安全確保	生徒指導検査実施事業	37
			いじめ問題対策委員会開催事業	38
	5 特別支援教育体制の充実	スクールサポーターの配置と活用 教育支援・就学相談の充実 特別支援教育推進委員会の充実	むつ市いじめ防止宣言フォーラム開催	38
			学校危機管理マニュアル改訂	38
			スクールサポーター配置事業	39
	6 教育相談活動の充実	むつ市教育相談室の充実	就学事務説明会・就学相談研修会開催事業	40
			特別支援教育推進委員会開催事業	40
	7 国際化に対応する教育と、郷土に対する愛着と誇りを涵養する教育の推進	外国語指導助手（ALT）の配置と活用 国際交流事業の推進 地域理解の促進	むつ市教育相談室開設事業	41
			適応指導教室開設事業	42
			自立支援相談員配置事業	42
外国語指導助手（ALT）配置事業			43	
8 教育研修センター講座等の充実	教職員研修講座の充実学生との交流	むつ市ジュニア大使派遣事業	44	
		中華民国陽明国民中学との友好交流事業	44	
9 弘前大学との連携強化	センター講座との連携強化 学生との交流 健康課題の解決	ジオパーク体験活動推進事業	45	
		教職員研修講座開設事業	45	
10 キャリア教育の充実	児童・生徒の夢をはぐむ体験の充実	教育研修センター講座等連携事業	46	
		ラボ・バス実験教室	46	
		「健康の未来」を変えるプロジェクト授業	47	
4	1 公民館の適正管理と運営の充実	中央館・地区館の管理運営体制の確立 公民館運営審議委員・少年教育指導委員の事業参画 公民館施設・設備の整備	むつ市子ども夢育成基金事業	48
			むつ市子ども議会	48
	2 公民館事業の推進	市民大学事業の充実 成人教育事業の充実 婦人教育事業の充実 青少年教育事業の充実 分館活動の充実	むつ市中学生夢はぐむ体験入学事業	49
			関係機関との連携（理科教室、海洋教室）	49
			公民館運営審議会	50
			地区館長会議の開催	50
	3 社会教育団体等の育成支援	社会教育団体の自主性・自立性の確立 サークル活動の推進 女性の社会参加促進活動などの支援 社会教育指導員の有効活用	公民館施設・設備の整備	51
			地区館の管理運営体制の確立	51
	4 生涯学習関連施設等との連携促進	下北地方公民館連絡協議会との連携 大学等高等教育機関との連携 社会教育団体との連携	市民大学及び各種講座開設事業	52
			新田地域ふれあい学級開催	53
5 視聴覚ライブラリーの充実	視聴覚教育の推進 視聴覚教具・教材の整備充実 視聴覚教具・教材の利用促進 下北地方視聴覚教育協議会との連携	婦人学級開催	54	
		子ども向け各種講座開設	55	
5	1 図書館施設の適正管理	施設・設備の効率的な維持管理 安全、安心を第一とした施設管理	ジュニアリーダー研修会等各種事業参画	56
			子ども防災キャンプ	56
	2 図書館サービス活動の充実	図書館協議会の設置 図書館システムの有効活用 図書館奉仕員の有効活用 本館と分館の連携強化 移動図書館車の効率的運行 公立図書館との相互貸借ネットワークの活用 障がい者サービスの充実 企画事業の展開 施設の提供・活用の充実	分館長会議・分館地域づくり講座開催	57
			各団体への指導・助言	58
			公民館まつりの開催	59
			市長と語る会、女性のつどい開催支援	59
	3 利用者ニーズに即した資料整備	基本図書・新刊図書の充実 寄贈図書の積極的活用	社会教育指導員配置事業	60
			下北美術展の開催	60
	4 子どもの読書活動の推進	児童図書の充実 子どもの読書活動推進事業の展開 読み聞かせボランティアの育成と活用 学校図書館支援及び見学・職場体験の受け入れ	下北美術展の開催	60
			市民大学一日体験入学	61
子どもネプタ合同運行支援			61	
かきぞめ大会の開催			61	
5	1 図書館施設の適正管理	施設・設備の効率的な維持管理 安全、安心を第一とした施設管理	視聴覚教材の充実と視聴覚教育の研究	62
			視聴覚教材の購入	62
	2 図書館サービス活動の充実	図書館協議会の設置 図書館システムの有効活用 図書館奉仕員の有効活用 本館と分館の連携強化 移動図書館車の効率的運行 公立図書館との相互貸借ネットワークの活用 障がい者サービスの充実 企画事業の展開 施設の提供・活用の充実	教材目録の発行、広報等によるPR強化	63
			連絡調整会議の開催	63
			図書館施設・設備の保守管理業務委託	64
			図書館施設・設備の改修及び修繕	64
	3 利用者ニーズに即した資料整備	基本図書・新刊図書の充実 寄贈図書の積極的活用	図書館協議会の開催	65
			図書館システムによるサービスの拡充	65
	4 子どもの読書活動の推進	児童図書の充実 子どもの読書活動推進事業の展開 読み聞かせボランティアの育成と活用 学校図書館支援及び見学・職場体験の受け入れ	図書館奉仕員の配置によるレファレンス活動の充実	66
			本館と分館の連携によるリクエストの拡充	66
移動図書館車の運行業務委託			66	
相互貸借ネットワーク事業			67	
5	1 図書館施設の適正管理	施設・設備の効率的な維持管理 安全、安心を第一とした施設管理	障がいを持つ人へのサービス	67
			むつ市詩歌コンクール	67
	2 図書館サービス活動の充実	図書館協議会の設置 図書館システムの有効活用 図書館奉仕員の有効活用 本館と分館の連携強化 移動図書館車の効率的運行 公立図書館との相互貸借ネットワークの活用 障がい者サービスの充実 企画事業の展開 施設の提供・活用の充実	映画監督川島雄三生誕100周年記念事業	68
			各種事業の開催	68
			主催事業の充実	69
			集会、講習、展示等への施設提供	70
	3 利用者ニーズに即した資料整備	基本図書・新刊図書の充実 寄贈図書の積極的活用	図書資料の購入	71
			郷土資料及び古文書の収集と情報の提供	72
	4 子どもの読書活動の推進	児童図書の充実 子どもの読書活動推進事業の展開 読み聞かせボランティアの育成と活用 学校図書館支援及び見学・職場体験の受け入れ	児童図書の購入	72
			子育て・子ども向け事業の開催	73
おはなし会等の開催			73	
学校への支援・協力			74	
5	子ども読書活動の推進	児童図書の充実 子どもの読書活動推進事業の展開 読み聞かせボランティアの育成と活用 学校図書館支援及び見学・職場体験の受け入れ	学校からの見学・職場体験の受け入れ	74
			県立図書館の協力図書貸出事業	74

